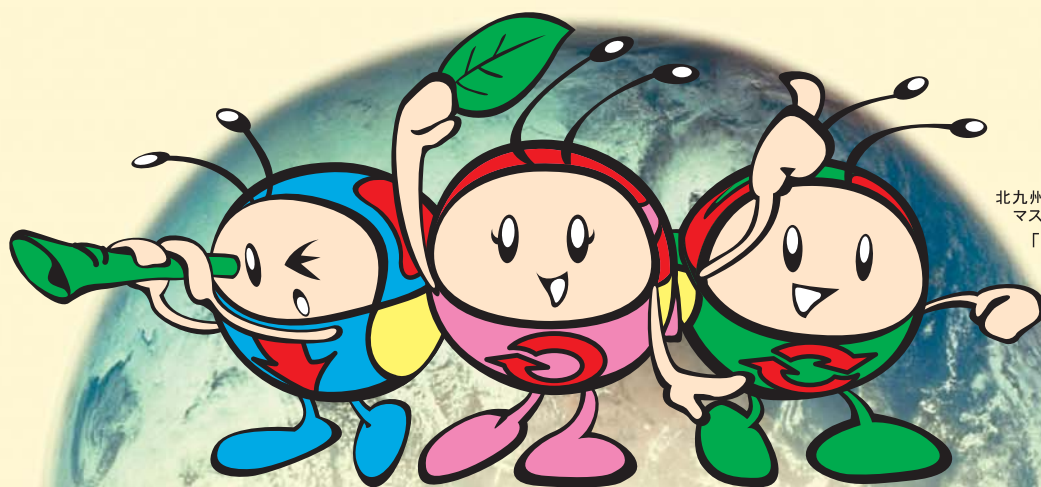


スリーアール

第2回 3R推進 全国大会

報告書



北九州市環境ミュージアム
マスコットキャラクター
「未来ホタル」

ごみを出さない
リデュースの「デューくん」

物を大切に
リユースの「ユーちゃん」

生まれ変わるよ
リサイクルの「サイくん」

↓ Reduce リデュース

↻ Reuse リユース

♻ Recycle リサイクル

平成19年10月17日(水) ⇒ 21日(日)

主催：環境省・福岡県・北九州市・3R活動推進フォーラム

1. 大会概要

- 1.大会報告 …1

2.大会シンボルキャラクター …2

3.行事一覧 …2

2. 式典

- 3 プログラム …3

挨拶 【主催者】 環境副大臣 桜井郁三 …4

福岡県知事 麻生 渡 …5

北九州市長 北橋健二 …6

【来賓】 北九州市議会副議長 平田勝利 …7

衆議院議員（厚生労働副大臣） 西川京子 …8

表彰式 3R促進ポスターコンクール環境大臣表彰 …9

循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰 …10

容器包装 3R推進環境大臣賞 …11

容器包装廃棄物排出抑制推進員
（地方推薦 3Rマイスター）の委嘱 …11

わたしがつくったマイバッグ環境大臣賞 …12

食品リサイクル推進環境大臣表彰 …12

特別講演 3R活動推進フォーラム会長 小宮山 宏（東京大学総長）
「『課題先進国』日本からの発信『3R』」 …13

記念講演 エッセイスト 安藤 和津 「私たちにできる身近な『3R』」 …22

大会宣言 北九州ドリームサミット（中学生議会）による宣言 …30

3. イベント開催結果

- 31 3R & グリーン購入ネットワークフェア …32

セミナーの開催…33

3R フェア…37

4. 関連イベント

- 38 環境省中央環境審議会・循環型社会計画部会 …38

ごみゼロふくおか推進大会 …38

東京大学サステイナビリティ学連携研究機構（IR3S）・北九州市
共催シンポジウム～北九州から東アジアの循環型社会を考える～ …39

北九州市 3R 活動推進表彰 …39

5. 資料及び大会設置要綱

- 40 広報物（チラシ・ポスター・ホームページ） …41

3R大会実行委員会 …43

大会委員設置要綱 …44

1. 大会報告

第2回3R推進全国大会実行委員会 委員長
久鍋 和徳（北九州市環境局長）



地球温暖化や将来的な資源エネルギー枯渇など地球規模での環境問題に直面している現在、未来に向けて、美しい地球を守るためには、資源の浪費を抑え、環境負荷を小さくする循環型社会づくりに3R活動の推進を通じ、取り組んでいかなければなりません。

このたび、市民、事業者、行政が一堂に会し、それぞれの3Rに関する知識や実践活動の情報を交換するとともに、ごみの減量やリサイクルなどに関する理解を深めることを目的とした3R推進全国大会が、北九州市で開催されました。

本市では、例年3R推進月間である10月に、西日本最大級の環境産業見本市「エコ・テクノ」や市民、NPO、企業、行政が協働で行う環境をテーマにした市民フェスティバルの「エコスタイルタウン」を行っており、「10月は環境関係のイベントがある」という認識が定着してきたところです。今回は、これらのイベントに加え3R推進全国大会を開催することで、より大きなムーブメントなることを目指しました。

全国大会のイベントとしては、10月17日～21日の5日間のうち、10月18日に大会式典を、前半の10月17日(水)～19日(金)の3日間「エコ・テクノ2007」において、事業者向けの「3R & グリーン購入ネットワークフェア」、後半の10月20日(土)～21日(日)の2日間を「エコスタイルタウン」会場において市民向けの「3R フェア」という形で、ブースの出展、セミナーを開催しました。

会期中は市内外から約16万人もの方々にお越しいただきました。特に大会式典(会場：リーガロイヤルホテル小倉)では、早い時間から多くの方に会場にいらしていただいたため、開場予定時間を繰り上げるという、嬉しいハプニングもございました。定員800名の会場はすぐに人で埋め尽くされ、環境問題、3Rに対する関心の高さを改めて実感した次第です。

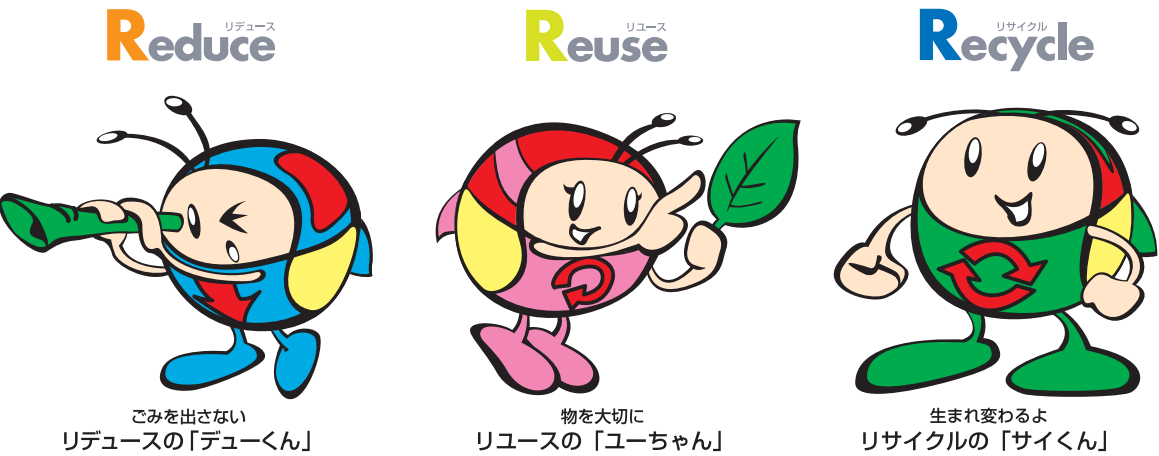
大会式典では、循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰等が桜井郁三環境副大臣から授与され、会場は晴れやかなムードに包まれました。特別講演として3R活動推進フォーラム会長 小宮山宏氏（東京大学総長）による「『課題先進国』日本からの発信3R」、記念講演としてエッセイスト 安藤和津氏による「私たちにできる身近な3R」をテーマにご講演をいただいた訳ですが、参加者の皆様には、小宮山先生からは地球規模の話、安藤さんからは日常生活における話、2つの観点からの『3R』についてのお話を聴いて頂いたことで、より深く考えるきっかけとなったのではないのでしょうか。

本市では、この大会を機に「北九州市3R活動推進表彰」を創設しました。これは3R活動に積極的に取り組む個人や団体を支援するもので、継続的に3R活動の輪を広げ、促進することを目的としております。小宮山先生のお話にありました「課題先進国・日本」として、北九州から情報発信できるよう、今後も3Rへの取り組みを拡充して行きます。

平成19年のノーベル平和賞を、アル・ゴア前米副大統領と、温暖化問題の影響や対応策について報告する国際組織「気候変動に関する政府間パネル」（IPCC）が受賞したこともあり、人々の環境に対する関心はこれまで以上に高まっています。私たち一人ひとりが環境問題に向き合い、社会生活、日常生活それぞれの中で3Rを実践していく時代です。この大会を礎に、循環型社会への歩みをより着実なものにして参りたいと考えております。

第2回3R推進全国大会は、多くの方々のご協力を頂き、成功のうちに無事終えることが出来ました。大会の実施にご尽力頂いた、環境省をはじめとした関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。次回、山形県で開催される大会もご成功を収められますよう、祈念いたしまして、大会報告とさせていただきます。

■ 2. 大会シンボルキャラクター



第2回 3R 推進全国大会のキャラクターには、北九州市環境ミュージアムのシンボルキャラクター「未来ホタル」を採用しました。

この「未来ホタル」は、3つのキャラクターに、それぞれ3Rにちなんで「デューくん」「ユーちゃん」「サイくん」という名前がつけられており、誰にでも分かりやすく、親しみやすいものです。既に環境局のキャラクターとして、市内では認識されているため『3R』を知らない方にも環境関連のイベントであるという、認識をいただきました。

■ 3. 行事一覧

10月17日水		10月18日木		10月19日金		10月20日土		10月21日日	
AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
エコテクノ 2007						エコスタイルタウン 2007			
3R&グリーン購入ネットワーク推進フェア						第1回北九州市3R活動推進表彰式 3Rフェア			
		ごみゼロふくおか推進大会		第2回3R推進全国大会式典					
		環境省中央環境審議会・循環型社会計画部会				東京大学サステイナビリティ学連携研究機構(IR3S)・北九州市共催シンポジウム			

2. 式典

■ プログラム (敬称略)

- 日 程 …… 10月18日(木) 13:30~16:00
- 会 場 …… リーガロイヤルホテル小倉 ロイヤルホール
- 来場者数 … 748人

主催者挨拶	・環境副大臣 桜井 郁三 ・北九州市長 北橋 健治 ・福岡県知事 麻生 渡 (代読 福岡県環境部長 角 敬之)
来賓挨拶	・北九州市議会副議長 平田 勝利 ・衆議院議員(厚生労働副大臣) 西川 京子
表彰式	・3R促進ポスターコンクール環境大臣表彰 ・循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰 ・容器包装3R推進環境大臣賞 ・容器包装廃棄物排出抑制推進員(地方推薦3Rマイスター)の委嘱 ・わたしがつくったマイバッグ環境大臣賞 ・食品リサイクル推進環境大臣表彰
特別講演	3R活動推進フォーラム会長 小宮山 宏(東京大学総長) 「『課題先進国』日本からの発信『3R』」
記念講演	エッセイスト 安藤 和津 「私たちにできる身近な『3R』」
大会宣言	北九州ドリームサミット(中学生議会)による宣言
次回開催地挨拶	山形県文化環境部長 細谷 知行
閉会挨拶	第2回3R推進全国大会実行委員会委員長 久鍋 和徳(北九州市環境局長)

■挨拶

桜井 郁三（環境副大臣）



こんにちは。ご紹介いただきました環境副大臣の桜井郁三でございます。

第2回3R推進全国大会がここ北九州市において全国から大勢の皆さんのご参加を得て、盛大に開催されますことを心からお喜びを申し上げます。また、本日、循環型社会形成推進功労者表彰をはじめ各賞の表彰や委託を受けられる皆様に対しまして心よりお祝いを申し上げます。この大会は年に一度日ごろ3Rや循環型社会の形成に取り組まれています企業、自治体、学会、NGO、NPOや一般市民の皆様など、幅広い関係者が一堂に会し、相互理解を深め具体的取り組みを全国、そして世界に発信し、広げていくことを目的としております。ここに北九州市はエコタウン発祥の地であるとともに公害克服の経験を各国に伝えられるなど環境対策を常にリードしてこられました。環境都市のトップランナーであり、この地において本大会が開催されますことは、わが国はもとより世界、特に近年発展が著しい東アジアとの関係においても大変意義深いものがございます。

さて、地球温暖化をはじめ環境問題は大変深刻であり、石油などの天然資源はその枯渇が懸念されております。このような状況の中で、今、私たちは現在の大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会を持続可能な循環型の社会に変えていく必要があります。このため世界に誇るべき「もったいない」の心と優れた環境技術を活かした地域から循環型社会を構築するために必要不可欠な3Rを通じ、皆様とともに地球に優しい循環型社会の構築に取り組むことが大変重要であると考えております。

環境省としては、3Rの推進は循環型社会形成の基盤であり、現在見直しを進めている循環型社会形成推進基本計画のもと3Rの国民運動などさまざまな取り組みを通じ、循環型社会の構築を後押ししてまいります。また来年7月に開催されます北海道洞爺湖G8サミットに向け、さまざまな機会をとらえ日本の優れた技術や取り組みを世界に発信するなど、わが国が提唱した3Rイニシアティブのさらなる推進を図ってまいります。

表彰や委託を受けられる皆様におかれましては、あらためて心からお祝いと感謝を申し上げますところであります。3Rの推進に向けて一層のご協力をお願い申し上げます。また本大会で開催されますさまざまなイベントを通じてご参加いただいた皆様の3Rへの理解がより一層深まり循環型の地域づくりがさらに発展する機会となること、こうした取り組みを全国、そして世界に発信し、取り組みが広がっていくことを祈念しております。

最後になりましたが、開催にあたってご尽力いただきました北九州市、福岡県、そして3R活動推進フォーラムの関係者の皆様にご心より御礼を申し上げまして、私のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

■挨拶

角 敬之（福岡県環境部長）



ただいまご紹介いただきました福岡県環境部長をいたしております角と申します。よろしくお願いします。本日は、知事がまいりましてご挨拶申し上げますところでございますが、先ほど司会の方からもご紹介がありましたように、公務のため出席できません。知事のメッセージを預かっておりますので、代読させていただきます。

「第2回3R(スリーアール)推進全国大会」に全国各地から、参加いただきました皆様、ようこそ福岡県においでいただきました。心から歓迎申し上げます。

また、循環型社会づくりに関する長年のご功績で後ほど表彰を受けられます皆様方には、これまでのご努力に敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。

現在私達は、地球温暖化や将来の資源・エネルギーの需給など、地球規模での環境問題に直面しています。この様な中、資源の消費と廃棄物の排出を抑制し、環境への負荷を小さくする3Rの推進は、私達にとって身近な取組であるとともに、循環型社会づくりの中核となるものです。

福岡県では、「循環型社会の形成」を重要な政策課題と位置づけ、積極的な取組を進めております。九州各県と共同して産業廃棄物税を導入するとともに、リサイクル製品認定制度を導入し、公共事業に優先的に発注するなど、廃棄物の発生抑制を進めています。

また、平成十三年に設置した「福岡県リサイクル総合研究センター」では、産学官の連携により、使用済み紙おむつの再利用や、本県の名物であるラーメンのスープに使う、豚骨の出し殻を用いたリサイクル肥料の「福岡とん骨粉」の開発など、新しいリサイクルシステムの開発を積極的に推進しています。

かつて深刻な公害問題を克服した北九州市、大牟田市では、それぞれエコタウンにリサイクル産業を中心とする環境関連産業の集積を進めるなど、世界最先端の環境都市づくりを進めています。

また、究極のクリーンエネルギーである水素エネルギーの実用化に向け、研究開発や実証活動、人材育成など、水素エネルギーの世界最先端の拠点づくりを進めています。

豊かな環境を次世代に引き継ぎ、循環型社会システムを構築するためには、住民、企業、民間団体、行政機関などの多様な主体が、理念と方向性を共有しつつ、具体的な取組において連携・協働していくことが必要不可欠です。

本日お集まりをいただいている皆様は、それぞれの立場で日頃から循環型社会づくりの第一線においてリーダーとしてご活躍されている方々です。

本大会を契機として、改めて3Rと私達の生活・社会についてお考えいただくとともに、交流を深められ、全国各地での循環型社会づくりに力を結集されますことを大いに期待しております。

最後に、本大会の開催に御尽力いただきました環境省、北九州市、3R活動推進フォーラムをはじめ、関係の皆様のご御尽力に深く感謝申し上げます。ご挨拶といたします。

平成十九年十月十八日
福岡県知事 麻生 渡

■挨拶

北橋 健治（北九州市長）

皆様、こんにちは。ようこそ北九州市へお越しをいただきました。

本日、全国から多くの皆様方をお迎えして、3R推進全国大会が開催されますことは、『美しき世界の環境首都』への取り組みを進めてまいりました本市にとりまして、大変光栄なことでございます。

また、本日表彰を受けられます皆様方には、長年にわたる3R活動へのご功績に深く敬意を表しますとともに、心からお祝いを申し上げたいと思います。

さて、私たちは今、地球温暖化や将来的な資源エネルギー枯渇など地球規模での環境問題に直面しております。未来に向けまして、この美しい地球を守るために資源の消費を抑制し、環境への負荷を小さくする3R活動の推進を通じました循環型社会づくりに取り組んでいかなければなりません。

そのため本市におきましては、全国に先駆けたエコタウン事業やアジア諸国への環境国際協力、ごみの減量化・資源化、市民・事業者・NPOの連携によるレジ袋削減活動などさまざまな活動に取り組んでまいりました。その結果、家庭ごみの量を25%減量することができました。また、本大会を契機に3Rに取り組む市民・事業者を応援するための表彰制度を創設したところでございます。先月には北京におきまして、日中国際協力の一貫としてエコタウンの技術協力を青島に対して行うことが調印されました。

また、小さな子どもから年長者の方まで一緒に地球環境問題を学習するために、これから『菜の花プロジェクト』に、新たに取り組むところでございます。今後は市民・事業者・NPOの皆様との連携を一層強め、美しき世界の環境首都づくりを推進していきたいと考えておりますので、皆様方のより一層のご支援とご指導をお願い申し上げたいと思っております。

結びに、この全国大会の成功と全国の3R活動がますます推進されますことをお祈り申し上げますとともに、本大会の開催にあたりましてご尽力をいただきました環境省、福岡県、3R活動推進フォーラムをはじめとする多くの皆様方のご支援、ご協力に、心より感謝を申し上げまして、一言歓迎のごあいさつとさせていただきます。



■挨拶

平田 勝利（北九州市議会副議長）

皆さん、こんにちは。北九州市議会副議長の平田でございます。第2回3R推進全国大会の開催、誠におめでとうございます。また、本日は全国から北九州市にお集まりいただきまして、心から御礼を申し上げます。地元市議会を代表いたしまして、一言ごあいさつを申し上げます。

今回、3R推進全国大会がここ北九州市で開催される運びとなりましたことを、地元市議会といたしましては大変うれしく思いますとともに、本市の環境の分野におけるさまざまな先駆的取り組みが評価され、開催の栄誉を賜ったものと思う次第でございます。実際、他都市の議員にお会いすると、北九州市はエコタウンが有名ですねとか、最近ごみ収集の制度が変わりましたねといった、環境の話題になることが最近多くなりました。昨年度他都市の議会が本市の視察にいらっしゃった中で、エコタウンの視察が最も多いという結果も出ていることから、決して自己満足な話ではないと思っています。

そしてこの式典には全国各地からこんなに多くの方々にお集まりいただきました。3Rの推進、言い換えれば環境問題の解決には行政の力だけでは限界があることは私がいうまでもありませんが、これだけ多くの方々が3Rに関心を持っていたことは、大変心強いことでございます。

地球規模で起きている環境問題の解決のためには、一人一人の身近なところからの取り組みの積み重ねや努力が重要でございます。また、後ほど循環型社会形成推進功労者表彰や食品リサイクル推進、環境大臣表彰など、3R活動に功績のあった方々の表彰がございます。せっかくの機会でございますので、本日お集まりの皆様は受賞者の方々ともぜひ積極的に意見交換をしていただきたいと思いますと考えております。自身の3Rの活動をさらに進化していただければと思うところでございます。

北九州市議会といたしましては、本大会のような活動が地域社会を構成する市民、事業者、教育機関、行政等に環境問題への取り組みを効果的に後押しするものとして、ひいては世界の環境首都を目指す本市が、世界の手本となるような循環型社会の都市づくりを支えるものとして、応援してまいりたいと思うところでございます。

終わりに本日お集まりの皆様方のこれからのご活躍とご健勝と、本大会のご盛会を祈念申し上げまして、また先人の皆様方のこれまでの環境の取り組みに敬意を表しまして私の挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。



■挨拶

西川 京子（厚生労働副大臣）

皆様、こんにちは。厚生労働副大臣の西川京子でございます。よろしくお願いいたします。舩添大臣の下、今、年金制度の信頼回復のために精一杯努力しておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

実はこの環境行政というのは、もとは厚生労働省の管轄ということもありまして、私はこの環境の分野に議員活動のかかなりの部分を割いてきてこの7年間過ごしてきたものでございます。今回この北九州市で第2回3R推進全国大会が行われるということで、今日、末吉前市長もお越しでいらっしゃいますが、この北九州市の長い間の努力、これなくしてはやはり語れないだろうと思います。そういう思いで議員の立場で今回の開催にお手伝いさせていただきました。今日、全国からこれだけの方々が集まりいただいて、すばらしい会が開かれましたこと、本当に、おめでとうございます。

今、地球環境、温暖化の問題、そしてこの持続可能なリサイクル社会と経済発展をどう構築するのか、これがどこの国にとっても最大の眼目でございます。その中でまさに日本はトップレベルの環境技術、そして自然と共生するという理念、精神面、技術面、あらゆることを考えても日本が世界のリーダーにならなければいけない。そういう思いで活動しております。

実は、3期生を中心に4年前に環境税創設を私たち7～8人の議員で立ち上げました。そのときには経済界の総バッシングを受けまして、党の税調で毎年議論をくり返しました。そして今、環境税創設は国民の過半数が賛成という結果が出てきました。化石燃料の高騰化の中でどれだけこれからしっかりと説明をしていけばいいのかが課題です。私たち一人一人が各企業、団体、個人、家庭、みんなでこの温暖化という問題を、そして資源の有効な利用のことを考えていかないと地球環境が成り立たなくなってきました。そのために今回、あらゆる企業の方々や団体がさまざまな努力をされています。すぐれた事例の報告、その他様々な実践報告もありだろうと思いますが、本当にそういう思いでこういう大会が開かれるますことは、国政を預かる立場から本当にありがたいことでございます。心から敬意を表しまして、本会のご成功を心からお祈り申し上げます。本日は本当におめでとうございます。



■表彰式

平成19年度3R促進ポスターコンクール

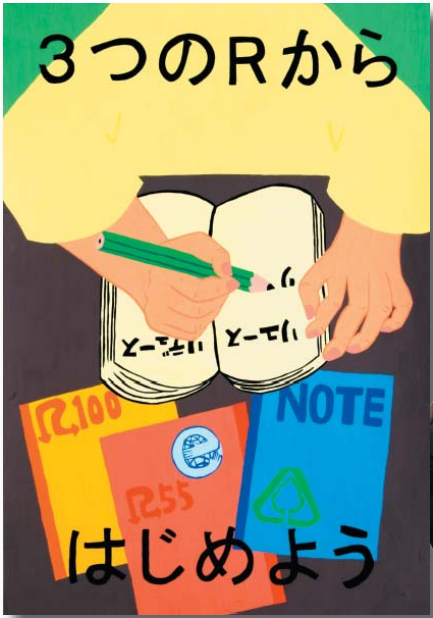
3R促進ポスターコンクールは、小学生、中学生を対象に過剰包装の抑制、リユースカップの活用、リサイクルへの協力など、『3R』、すなわち排出抑制のリデュース、再使用のリユース、再生利用のリサイクル、これらを通じて循環型社会の構築を推進することをテーマとしてポスターを募集し、優秀作品に選定された方々を表彰するものです。



小学生低学年の部（1～3年生）
最優秀賞 藤井 菜穂さん



小学生高学年の部（4～6年生）
最優秀賞 金田 千咲さん



中学生の部
最優秀賞 日野 郁花さん



循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰

循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰は、先駆的または独創的な取り組みにより、循環型社会の形成について顕著な成果を上げている個人、企業または団体の方々に環境大臣から表彰するものです。

平成19年度「循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰」では個人10名、NPO等の13団体および企業18社が受賞されました。



部門	都道府県	氏名
個人	愛媛県	戒田 節子
	広島県	源川 弘毅
	茨城県	宮本 清治
	宮城県	今野 利夫
	徳島県	岸 小三郎
	北海道	服部 隆志
	福岡県	藤 浩志
	福岡県	岡崎 尚文
	福岡県	西山 末生
	福岡県	奥野 照章

部門	都道府県	団体名
企業	福岡県	西日本ペットボトルリサイクル株式会社
	長野県	花村産業株式会社
	北海道	株式会社木の城たいせつ
	東京都	野村興産株式会社
	大阪府	大栄環境株式会社
	大阪府	近畿環境興産株式会社
	東京都	日栄産業株式会社
	神奈川県	株式会社タケエイ
	岩手県	北上製紙株式会社
	東京都	東亜建設工業株式会社
	岐阜県	上田石灰製造株式会社
	北海道	株式会社アレフ
	大阪府	株式会社チクマ
	東京都	高俊興業株式会社
	東京都	株式会社伊藤園
	秋田県	株式会社エコリサイクル
	熊本県	株式会社田中商店
	鳥取県	株式会社細田企画

部門	都道府県	団体名
団体	京都府	ふろしき研究会
	静岡県	磐田市豊田ごみを考える会
	神奈川県	ファイバーリサイクルネットワーク
	愛知県	特定非営利活動法人稲沢ゴミO協議会
	北海道	循環ネットワーク北海道
	山形県	学校法人金山学園めばえ幼稚園
	神奈川県	厚木なかちょう大通り商店街振興組合
	京都府	綾部市環境市民会議
	千葉県	GONET（ごみゼロネットちば21）
	青森県	特定非営利活動法人循環型資源社会発信地域創造グループNPO法人エッグ
	香川県	NPO グリーンコンシューマー高松
	埼玉県	朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会
	青森県	特定非営利活動法人循環型社会創造ネットワーク

容器包装3R推進環境大臣賞

容器包装3R推進環境大臣賞は、容器包装廃棄物の3Rの推進に資する活動の奨励・普及を図るため、平成18年度から設けられたものです。

「地域の連携・協働部門」「小売店部門」「製造部門」の3部門があり、本年度は合計31件の応募がありました。この応募案件を国連大学副学長の安井至副学長を委員長とする審査委員会で選考していただきました。

今回の表彰式は、各部門の最優秀賞を受賞した団体にご出席頂き、最優秀賞以外の受賞者は、ステージに一覧を映しました。また、今回はこの賞の審査委員であり、中央環境審議会循環型社会計画部会の委員である京都大学の酒井伸一教授とジャーナリストであり環境カウンセラーの崎田裕子さん2名の方からご講評をいただきました。

なお、各部門の最優秀賞の受賞団体には、「標章」が併せて授与されました。

受賞団体は、広報印刷物や製造・販売する製品の容器包装に、この標章を掲載することができます。



部門	都道府県	受賞者
地域の連携・協働部門	東京都	財団法人 地球・人間環境フォーラム
小売店部門	兵庫県	生活協同組合コープこうべ
製品部門	東京都	大塚製薬株式会社

容器包装廃棄物排出抑制推進員(3Rマイスター地方推薦)



県	推進員
福岡県	中垣 洋
福岡県	諸藤 見代子
福岡県	吉田 順子
大分県	桑野 恭子
大分県	葛西 満里子

「3R推進マイスター」（容器包装廃棄物削減を図る上で推進役）の委嘱式が行われました。

この制度は、きめ細やかに3Rの普及啓発を図るため、地方自治体等から、地域のオピニオンリーダーとして活躍する方で講演やシンポジウムへ出席できる方を環境大臣から委嘱する制度です。

今年度は全国で合計52名が「3R推進マイスター」として委嘱されることとなり、今回の委嘱式では九州内の5名の方が環境副大臣から委嘱状を手渡されました。

わたしがつくったマイバック環境大臣賞

わたしがつくったマイバック環境大臣賞は、レジ袋など容器包装廃棄物の発生抑制を図るため、環境省でPRしてきました「買い物でのマイバック持参運動」を更に推進するため、本年度、新たに設けられたものです。この賞は、小学生以下を対象とした児童部門、中高生を対象とした生徒部門、消費者部門のうち壊れたカサを利用した部門、消費者部門のうちカサ以外を利用した部門、それに事業者部門の5部門があります。本年は318の人、団体からは462もの作品の応募があり、千葉商科大学の宮崎緑教授を委員長とする選考委員会で選考いただきました。



小澤 志峰



谷中 咲慧



石川 敏子



榎木野 美奈



相川技能伝承展示館



部門	都道府県	受賞者
児童部門	兵庫県	高津橋小学校 3 年 小澤 志峰
生徒部門	徳島県	鳴門教育大学付属中学校 1 年生 谷中 咲慧
消費者部門	福井県	石川 敏子
消費者部門	福岡県	榎木野 美奈
事業者部門	新潟県	相川技能伝承展示館

食品リサイクル推進環境大臣賞

食品リサイクル推進環境大臣賞は、事業者間の連携を進めることで、食品リサイクルを行ったり廃棄物の排出量を減らすなど、食品リサイクル法にのっとった優れた活動によって、食品リサイクルの推進や、循環型社会の形成に貢献している取組を表彰して、さらに取組を推進し、普及啓発を図ることを目的としています。この賞の受賞は、愛知県経済農業協同組合連合会、ユニー株式会社、ヒラテ産業有限会社の三者協同の取組となりました。



記念品として「容器包装3R推進環境大臣賞」「わたしがつくったマイバック環境大臣賞」の奨励賞を受賞した ローソン様から「コンビニecoバッグ」と、「容器包装3R推進環境大臣賞」の製品部門・最優秀賞を受賞した 大塚製薬様から「ポカリスエット 500ml」のご提供を頂き、式典参加者全員にお持ち帰り頂くことが出来ました。



(株)ローソン様ご提供「コンビニecoバッグ」

(株)大塚製薬様ご提供「ポカリスエット 500ml」



■特別講演「『課題先進国』日本からの発信『3R』」



3R 活動推進フォーラム会長 小宮山 宏 氏（東京大学総長）

受賞された皆さま、大変おめでとうございます。皆さまの活動の紹介を伺い、本当に多くの方が素晴らしい活動をやっておられることで、私はこの分野で日本が世界に向けて情報発信でき、また先導していくのではないかとこの確信に近いものが生まれたような気がしております。このような取り組み一つ一つが具体的なものになるわけですが、それを少し世界の中に位置づけてみて、日本という国を環境やエネルギーといった観点から見直してみたいと思います。今日の話は「課題先進国」、まずこの思いについて少し話をさせていただいて、そこから、人類の発展の歴史、20 世紀の話をします。そして、今、なぜ我々が3Rに取り組まなければならないのか、エネルギーを循環させ、なおかつ節約する21 世紀をつくっていくという全体像の議論をしたいと思います。そう難しい話はしませんので、どうぞご安心を(笑)

「課題先進国」という言葉は、現在の廃棄物の増加の問題や、もともと日本にエネルギー資源が全くないことに由来します。石炭の時代には70～80%の自給率になったこともありますが、石油の時代に入ってからほとんどを輸入に頼っています。それに加え、ヒートアイランド現象や環境の汚染、さらには少子・高齢化、都市の過密化、地方の過疎化、原子力発電所の安全の問題など挙げればきりがありません。しかし、

「課題先進国」日本

- 廃棄物増加
- エネルギー・資源少
- ヒートアイランド現象
- 環境汚染
- 少子高齢化社会

● 国土面積：世界60位
● 人口：世界10位



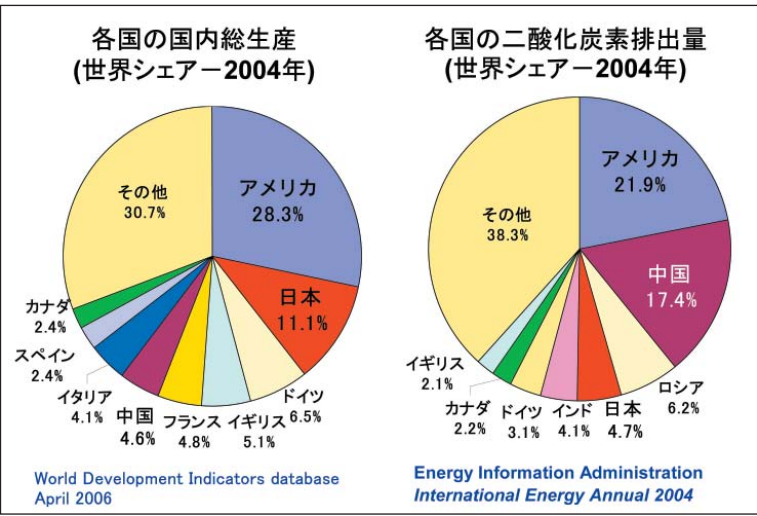
● GDP：世界2位

これらの課題の解決策をどこかの国に求めてみても、答えは見つかりません。私たちはこのような「課題」に対して「先進国」であって、自分たちでモデルをつくっていく時代に入っているのです。では、我々は孤独なのかというとそんなことはございません。実は、我々は課題を代表して、先進的に抱えていると考えるべきではないでしょうか。というのは、中国、インド、この二つの国が間もなく先進国になるわけです。中国は今の高度成長を考えますと、恐らく10 年ぐらい、インドも日本の1960 年代の日本の高度成長期に似た成長を続けておりますので、あと20 年も経つと先進国になります。

インドと中国、二つ合わせて世界の40%の人口を持つ二つの巨大な国が先進国になったとき、今の日本とちょうど同じような状況になります。つまり狭い国土に多くの人口が住んでいて資源が少ないという状況です。一人一人が高度な文明生活を営んでいる先進国という状態が、世界中に来るということがほぼ確実視されるわけです。例えば、私が学生のころ石油は1バレルが2ドルでした。ところが、昨日1バレル80ドルを瞬間的に突破したという状況で、その背景には、もう石油がなくなるのではないか、足りないのではないかというような危機感があるわけです。



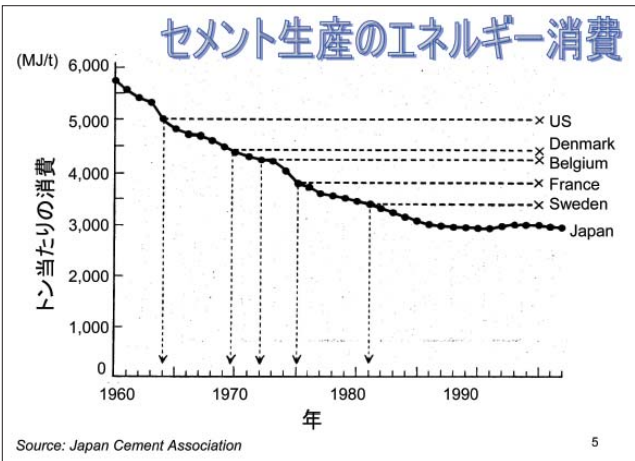
また、少子・高齢化は日本特有の問題ですが、少子化というのは世界の先進国すべてで起こっています。日本は今、高齢化では世界で一番進んでいる国だといわれますが、世界で一番高齢化のスピードの速い国はどこだかご存じですか？それは中国と韓国です。日本は昨年子どもを生む数が少し増えて、出生率が、1.26まで落ちていたのが1.3まで回復してきました。中国は一人っ子政策が成功しているので1.1ぐらいだといわれています。韓国も同じように1.1ぐらい。ですから、高齢化のスピードが速いのは、中国、韓国、それにドイツなども高いとのことですが、そういった状況です。2020年には中国の人口がピークを迎えるといわれています。一方、我々は一昨年、人口のピークをすでに越えて、現在高齢化という問題に対峙しているわけです。そういったことから、私たちが抱える課題というのは間もなく来る21世紀の人類全体の課題だと考えたほうが良いと思います。逆にそう考えようというのが「課題先進国」日本という意味なのです。



では、少し現在の日本の実力と言いましょうか、そういうものを見ていきたいと思います。日本は、皆さんご存じのとおり、2004年で世界の11%のGDPを生産している世界第2位の経済大国です。1位はアメリカです。大体、世界3位のドイツと4位のイギリスを合わせたぐらいのGDPを生産しています。

一方で、日本はCO₂排出大国といわれ、世界の4.7%を排出しています。しかし、経済が大きければほぼ比例して二酸化炭素の排出、つまりエネルギーの使用量というのは大きくなるのです。しかし日本は11%の生産に対して、4.7%。きわめてエネルギー効率の高い国と言えます。アメリカでは28%ぐらいのGDPで、22%ぐらいの二酸化炭素を排出しています。それと比較すると極めてエネルギー効率の悪いのが途上国で、特に中国のエネルギー効率はきわめて低い。日本はいずれにしても経済的に非常に大きな国で、エネルギーも消費していますが、エネルギー効率は極めて高いことをデータが示しています。

では、なぜ日本のエネルギー効率は高いのか。エネルギーは大きく分けると二つのことに使われます。まずものをつくることに使われます。ものづくりの効率というのが日本は非常に高い。ここにセメントの生産の例を示しているのですが、セメントをつくるには必ずエネルギーが必要です。



同量のセメントをつくるのに、少ないエネルギーで済むほうが良いわけです。このグラフは日本が年代別に1トンのセメントをつくるのにどれだけのエネルギーを使っているかというのを示しています。いかに時代とともに進歩してきたかということが、ご理解いただけたと思います。つまり日本の今のセメント生産プロセスは1960年の生産プロセスの半分しかエネルギーを使っていないのです。これは日本の技術屋が頑張って、製造法を進歩させた結果です。

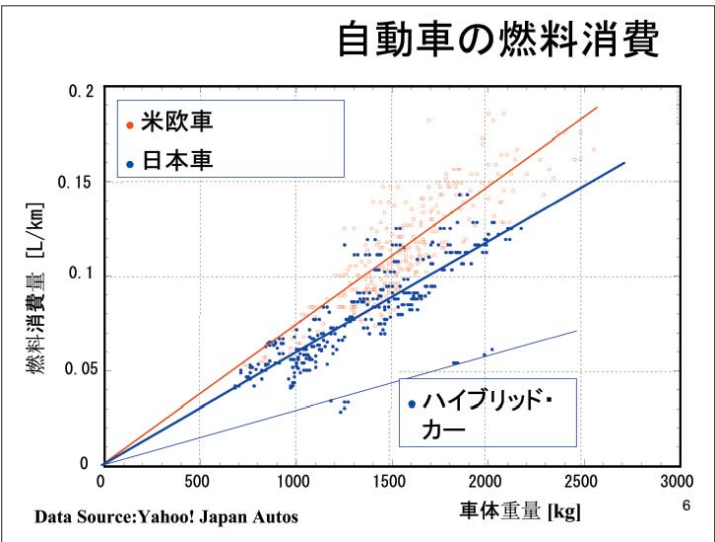
セメントは製造過程で熱を入れるプロセスがあります。これによってセメントからすごい熱やガス

が出ます。その熱を逃がさず予熱として使えるようにサスペンション・ヒーターを開発し、さらにニュー・サスペンション・ヒーターに発展させるなど、4世代でセメントの製造法というのが変わってきているのです。日本ではセメント製造のすべてのプロセスで、最新のニュー・サスペンション・ヒーターを使っています。

では、ほか先進国もエネルギー効率が低いかなと思ったら大まちがいです。アメリカは今の段階で、同じセメント1トンをつくるのに日本の1.8倍ぐらいのエネルギーを消費しています。何でアメリカのセメント製造プロセスはこんなにエネルギー効率が悪くて成り立つのかと思われますか？それは非常に簡単で、アメリカはエネルギーを安くするという政策をとっているからです。電気にしてもガソリンにしても、今でも日本の半分ぐらいの価格です。昔は3分の1ぐらいでした。

今、世界のセメントの45%を中国が生産しています。現在、発展している北京や上海の街をつくるのに必要なセメントです。恐らく、中国の今のセメント製造のエネルギー効率は、きちんとした統計がないので分からないのですが、いろいろな人の予測ですと、アメリカと同じくらいではないかと言われています。つまり、中国が世界の45%のセメントを生産するのに、日本の最新技術を使えば、それだけで40%もエネルギー削減できてしまうのです。この例で分かるようにエネルギー効率を高めるということはとても大事なことで、そういう意味で日本は先端を切っているのです。

エネルギーは、一つはものをつくるのに使うとお話しましたが、ではもう一つは何でしょうか？それは生活をするためです。例えば、オフィスで暖房をしたり、家庭で煮炊きをしたりという、人間生活に密着したエネルギーの消費です。日本では、半分ぐらいがものづくりに使われていて、半分ぐらいが生活に密着したエネルギー消費に使われています。そのときに使っているものの効率も日本は非常に高いです。



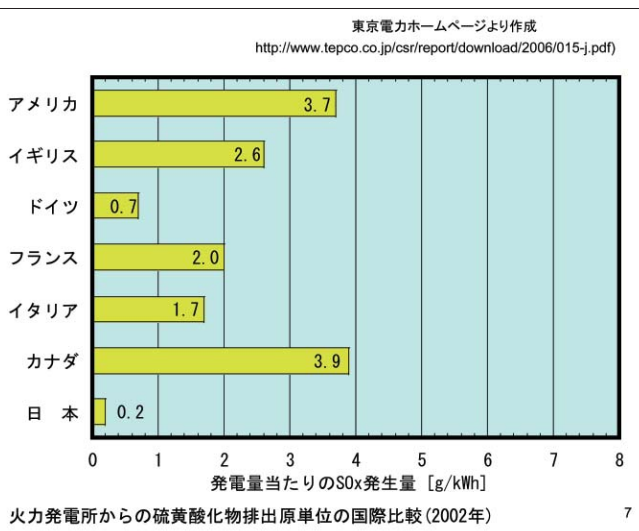
これは自動車の例です。この図は横軸に車の重さを取りまして、縦軸に1キロ走るのに何リットルガソリンを消費するか、燃費といわれるものの逆数、1リットルで何キロ走るかではなくて、1キロ走るのに何リットルのガソリンを消費するかというのを縦軸にとりますと、これは原理的に直線に並びます。車というのは摩擦に抗して走るから、重さに比例するのです。だから技術が同じなら、世界中の車は1本の比例の線の上に乗りますが、赤線と青線で明確に分かれていますね。赤い色が日本以外の、アメリカ、ヨーロッパの車で、青い色が日本の車です。同じ重さで20%、エネルギー消費

が少ないのが分かります。これが日本の車の技術と欧米の車の技術の差です。さらに言うと、その下に際立って低い線がありますね。これが日本のトヨタやホンダなどが先陣を切っているハイブリッドカーといわれるものです。これですとさらにエネルギーが半分になるわけです。

私ごとで恐縮ですが、私は去年の3月までマークIIという車に乗っていましたが、古くなったので念願のハイブリッドカー「プリウス」に買い替えました。そうすると、私のエネルギー消費は3分の1に減ったわけですよ。世界中の人がこの行動をとると、世界のガソリンの消費量が3分の1になるということです。これはすごいことですよ。省エネルギーというのは二つあります。一つは、車に乗るのをやめて、自転車に乗ろうというような省エネです。私はこれをライフスタイルと呼びたいと思います。これも大切です。しかし、ライフスタイルだけでは、とても今のエネルギー消費の増大は止まりません。やはり、同じ車が走ってガソリンの消費量を3分の1にできるというような、日本が世界に誇るべき技術が必要になってくるのです。

では環境はどうでしょうか。大気などの生活環境です。この分野はヨーロッパが環境先進国といわれます。この図は1キロワットアワーという単位の電気を得るために火力発電所からどれだけの酸化硫黄が出ているかというデータです。

石油とか石炭の中には硫黄が入っていますから、これを燃やしてそのまま出すと空気に酸化硫黄が放出されるわけです。これが雨に溶けると硫酸ですから、酸性雨になります。ですから、スクラバーと呼ばれる機械で排出するガスを一生懸命洗うわけです。最近では工場の煙突から白い煙が上がっていても、少しすると消えてしまいます。あれは全部水蒸気だからです。日本はそうやって一生懸命亜硫酸ガスを取り除いてきました。その結果、ほかの国と比べてみると、圧倒的な差があって、アメリカの15分の1ぐらいです。ドイツがここ10年ぐらい脱硫に一生懸命力を入れ始めました。ドイツの誇るいわゆる「黒い森」、シュヴァルツバルドが枯れ始めたから、必死で酸性雨を防ぎ始めたわけです。



私が1990年代の前半に世界の脱硫、硫黄をどれだけとっているかという現状を調べたとき、世界で4000台の硫黄をとるための設備、脱硫装置というものが動いていました。そのうちなんと、3200台が日本で動いていました。要するに、当時まじめに脱硫をやっていたのは日本しかなかったわけです。エネルギーを使うから排ガスが出て、硫黄が出るのですから、世界の5%しかエネルギーを使っていない日本で、世界の8割の脱硫装置が動いていたわけです。脱硝装置も同じようなものでした。

このように日本は環境に対しても、非常に先進的な試みを過去にもやってきています。なぜなのでしょう？日本

の企業のモラルが高かったからでしょうか？日本人のモラルが高かったからでしょうか？僕はやはり、そうではないと思うのです。我々には課題があったからです。必要があったからです。石油は全量輸入ですから非常にコストがかかります。アメリカと比べると約3倍していたわけです。だから企業は一生懸命省エネに努める。省エネに努めることが経済的価値を生んだのです。そういう課題があったのです。

では、その課題とは何だったのでしょうか？そうです、公害です。これはとてもいい例で、北九州市からいただいたスライドですが、皆さんよくご覧になっているのかもしれないですね。

これは1960年の洞海湾ですね。私が子どものころには小学校の社会科の時間に、煙突から煙がもくもく出ていて、空が黒いというのは日本の発展の証拠なのだと、先生から教わりました。仕方ないですよ、日本は必死で頑張ってきたのだから。だけど、気がついてみると、ここまでひどい状況になっていたわけです。これは日本だけではなく、アメリカもドイツも同じような状況になりました。でも、すぐ近くに人が住んでいたのは日本



だけなのです。日本は人口密度の高い国で、高密度の生産を行って世界第2位の経済大国にまでなったわけですが、すぐ近くに人が住んでいるから、本当に痛い目に遭ったわけです。洞海湾では停泊した船のスクリューが半分溶けたような写真が新聞に載って、我々は衝撃を受けましたし、水俣は本当にひどい目に遭いました。瀬戸内海も汚れたし、東京だったら隅田川なんていうのは川開きをやめてしまったくらいですから。花火を上げて、これから夏になって暑いから川辺で涼んでいこうというのが、臭くて川開きなんてやれなくなったわけです。それは人口の多い、狭い国土で、高度な文明をつくったということによる必然の結果で、だからこれは10年、20年間もなく来る世界中の状態になってくるわけです。隅田川は今では、川開きも復活しましたし、屋形船が浮かんで、夕方、天ぷらを食べながら屋形船で一杯飲めるというところまで回復しました。シロウオが上るところまで回復したわけですよ。

我々は環境をここまで回復させてきた訳ですが、これは決して北九州だけではありません。同じことがあちこちで起こっている。例えば、名古屋市の藤前干潟というのをご存知でしょうか？ごみ捨ての場所がなくなってしまったから、新しい埋め立ての場所に藤前干潟という渡り鳥の営巣地を使おうと自治体が決めたわけです。ところが市民から猛烈な反対運動が起こります。それでどうしたか。北九州も同じようなことをやっておられるわけだけれども、分別しよう、ごみを減らそうということが始まったわけです。それで10種類の分別にしました。それまでごみは増えるという予測のもとに計画を立て、藤前干潟を使おうということになっていたのだけれど、このような取り組みの結果、ごみの量は7割まで減ってきています。

もっとすごいのは分別を増やしたら燃やしたあとの残渣が減った事です。燃やして残るもの、これは燃えないものです。燃えないものというのはガラス、セメント、鉄、そういう金属か石です。これが分別されていれば、他のものは燃えるのですから、残渣はなくなるのです。結局、名古屋市の残渣は10%減ったそうです。恐らく北九州にも同じようなことが起こっているはずですよ。埋め立てるべき残渣が減ったことで、埋立地の必要はなくなりました。ですから、藤前干潟は今でも渡り鳥の営巣地ですし、市民の憩いの公園として残りました。こういうことが日本の至るところで起こっております。水俣も復活しました。世界で最も多様性に富む海、いろいろな種類の魚が捕れて、それもおいしく食べられるというように回復しました。

我々は基本的に資源が乏しく人口密度の高い産業先進国ということで多くの課題を持っていますが、自分たちの課題を解決すればそれが21世紀の地球の課題を解決することにつながるという時代がよいよ来たのです。

歴史をある側面からながめると、同じようなことが言えるのではないのでしょうか。イギリスが権利の章典を書いて、議会制主義をつくった。フランスが革命を行って、自由、民主、博愛という民主主義の基盤をつくった。ドイツは化学産業を世界に先駆けてつくって、アメリカは自動車社会等いろいろ先進的な開拓を人類に先駆けてやっている。ではドイツが化学産業をつくったのは世界に貢献しようと思ってつくったのか？そうではありません。自分たちの課題を解決しようと思ってつくったのです。フランス革命は別に日本のためにやってくれたわけではなくて、自分たちのために市民が立ち上がったわけではなくて、つまり、そのときの先進国が自分の課題を解決しようと思って新しいモデルをつくると、それが結果的に世界に波及していくというのは歴史の流れなのです。日本はこのデータを見ても、環境、あるいはエネルギーといった課題に対して、先進国だと言えるじゃないですか。



我々は自分達の課題に自分達で答えを出す。このマインドを明確にすべきです。それが日本は課題先進国だということの意味なのです。それなのに、これだけ先進的な日本の3Rという試みがありながら、今でもドイツのごみ処理を見てきて、「あそこのごみ処理は素晴らしい」なんて言っている人たちがたくさんいるわけですよ。日本のごみ処理を見て、両方を見て、比べてみたらいいですよ。私も両方を見ていますが、それは明らかに日本のほうが進んでいます。誇りを持つべきです。

明治維新以降、日本は外国に引け目を感じる癖がついてしまった。それまでも日本はある種の先進国だったのですよ。浮世絵がなかったら、恐らく後期印象派は成立しなかった。モネやゴッホは浮世絵に衝撃を受けて模写していますよね。お祭りにしても、日本のお祭りというのはきわめて精神性が高いお祭りが多いですよ。世界中の花火を見たけれども、やはり日本には「花火道」というのがあるのではないかと思うぐらい、美学をもって本当に素晴らしい花火をあげることができます。

日本は文化で負けていたのではない。では、明治維新のときに何に負けていたと思いますか？やはり産業技術力ですよ。産業技術力で徹底的に後れをとっていた。その象徴がやはり黒船、その黒船が積んでいる大砲だったわけです。自分たちの船や大砲を比べると圧倒的に違って、それは日本の国の存亡にかかわる問題だったわけです。事実、アジアの日本以外のほとんどの国は占領されています。日本は明治維新以降、一生懸命、欧米を追いかけたわけです。議会制民主主義をイギリスから、警察制度はフランスから、化学産業はドイツから、鉄はイギリス、大学はドイツです。

本当は教育制度については、日本はものすごく発達していたのです。東京大学は今年で130周年ですが、やはり古いと何となくいい、という気分があります（笑）。慶應大学は150年、オックスフォード大学が800年です。オックスフォードに少し負けているのかもしれないけど、ハーバードに負けるのは悔しいわけです。あんな歴史のない国の大学が300年。我々は調べてみたら、350年まではまちがいなくさかのぼるのです。江戸時代には藩校というのが255ありました。当時の藩校が19世紀に入ると総合大学になっています。なによりすごいのは、日本の識字率です。あるいは初等・中等教育率といってもよいのでしょうか。19世紀の前半に、藩によっても違いますが、少ない藩で70%、多い藩は85%の人が寺子屋、藩校に行っていた。もう当時の先進国の中で抜群です。圧倒的に世界第一位。やはりその当時の教育と、みんなが教育を受けたということが、今の日本をつくっているような気がします。

あと大事なことはトップですね。私も含めてトップが引っ張っていく気概とビジョンを持つことが重要だと思います。

2050年までに二酸化炭素の排出量を半分にしようという3Rイニシアティブがあります。これは世界に誇るべきですよ。私は終始一貫主張しておりますが、人類が目指すべき極めていい目標だと思います。CO₂を減らし、リサイクルを行う。そのための3Rイニシアティブ、これを世界に高らかに宣言する。この宣言するというのが日本の苦手なところで、本当はよくやっているのだけれども、あまり「やるぞ!」と言わない。



先日、ドイツのメルケル首相が日本においでになった際、話をしたのですが、彼女はドイツが世界の太陽電池を引っ張っていると言うわけです。しかし、世界で一番太陽電池をつくっている国をご存じですか？圧倒的に日本です。世界シェアの60%程度を日本でつくっていて、実は去年の5月まで導入量でも日本が一番だったのです。ところが、ドイツに抜かれました。ドイツと日本では宣伝が全然違いますね。新聞なんかでも、ドイツの素晴らしい太陽電池の導入のシステムを学べとか言っているじゃないですか。メルケル首相の言っている話を聞くと、お金をいろいろ補助していて、設置後18年経過すると投資したお金が回収できるという仕組みだそうです。

我が家は太陽電池をのつけてちょうど18年ですので、ちょうどペイバックタイムです。ほかにも太陽電池をのつけている方がたくさんおられると思いますが、それぞれの家が一個の発電所になるわけです。わが家は小宮山発電所ですね。なぜかという、昼に電力会社に電気を買ってもらいますから。法律で電気を売るのは発電所だけと決まっていますが、発電所になれる非常に簡易な制度が出来て、私は小宮山発電所になるのに一回サインしただけです。それから太陽電池を導入するのに必要な費用約600万円に対し、約300万円の補助が受けられました。これは日本の省庁はとてもよくやりました。もちろん技術の援助もして、だから生産で今でもトップなわけです。

これから大事なことは、世界に向けて将来のビジョンとともにこういうことをやるぞと宣言することです。それが3Rです。日本で「循環型社会というのをつくるべきだ」と宣言したわけです。目標を決めて始めたら日本は勝ちます。「プロジェクトX」という番組がありましたね。だいたい古い話になりますが、要するにあの世界に持ち込めば日本の勝ち、目標が定まれば大概のことはやれます、あとはきちんとした目標をつくってそのための制度をつくっていけるかどうか、ここにこそ産学官が一体となるべきなのだろうと思います。

20世紀というのは、あらゆるものが膨張した世紀で、人口も増えました。しかもエネルギーの消費量が増大して、二酸化炭素の濃度という地球の平均的な値に人間の活動が影響を与えるまでに人間活動が膨張しました。これが20世紀の特徴です。だから我々は人類として非常に特殊な時代に生きています。これは本質ですから、決して何かわからないといったような話ではありません。20世紀は膨張の世紀です。

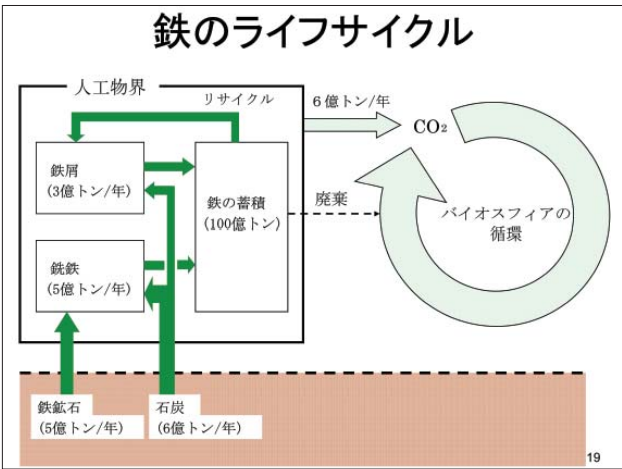
我々には環境エネルギーの全体像が必要です。私は、十数年前に岩波新書で「ビジョン2050」というのを提案しております。結論からいうと三つです。一つは物質循環システムを構築すること。それから、エネルギー効率を3倍にすること。そして、自然エネルギーを2倍にすること。これを2050年までに実現できれば、恐らく人類は持続できるであろうという、エネルギーと物質に関するトータルビジョンを出しました。これが最初に申し上げた、「回しさえすればいくらエネルギーを使っていという問題ではないのだ」、「我々はエネルギーと物質と環境とを一緒に解決しないとイケないのだ」と言っている意味です。

リサイクルは省エネルギーになります。これは重要なことです。でもリサイクルをすると余分にエネルギーがかかるという話がありますね。だけれども、上手にやっていけば、省エネルギーになります。これが結論なのです。ごみの収集などには自動車のガソリンなどのエネルギーがかかります。例えば空の自動車で北九州から名古屋までバイオマスを取りに行く、こんなことをやっていたら、いくらエネルギーがあっても足りません。けれども上手なやり方をすれば、基本的に省エネルギーになります。

人類にとって非常にありがたいことは、鉄という非常に重要な物質の発見です。鉄は本質的にリサイクルに向いている物質です。極論すると、酸化鉄から酸素をとるというのが基本的に製鉄の技術です。一回還元して鉄にすると、それは永久に使えます。時々タイタニックなんていう大きな船が沈んでしまったりありますが、ほかのものは沈まない限り、もう一回溶かして使えます。なぜかという、このほうが省エネだから。酸化鉄から酸素をとるよりも、一回つくった鉄を溶かす方がエネルギー的に理論上では5分の1で済むのです。これは融解熱と反応熱という問題です。酸化というのは燃やすことだから、溶かすほうがはるかにエネルギーとしては小さいのです。だから高炉よりも電炉というのです。電炉で溶かすほうがエネルギー効率をはるかに高いのです。これは非常に大きな循環型社会というものが人類はつくれるということの一つの理論的背景です。

今、そういう意味でいうと、自動車だの船だの橋だのという形で地球上に100億トンぐらいの鉄があり、スクラップが3億トン出てきています。これで大体鉄が30年で終わりになる。自動車だったらもう少し早く、10年ぐらいで廃車になるとか、橋だと70年もつとかということで、大体平均して30年で回るから、毎年3億トンのスクラップが出てくるのです。実は今、8億トンの鉄を生産していますが、鉄鉱石からつくっているのは5億トン、スクラップが3億トン、これだけでリサイクル40%ぐらい。鉄は8分の3がリサイクルなのです。今でもほとんど還元しているから、2050年にはざっと言うと300億トンぐらいたまるのです。これが上海やベトナムの都市になったりして、その中のかなりの部分が鉄でできているわけです。その鉄が300億トンです。

このとき30年でダメになるとしたらどうなるかというと、スクラップが10億トン。今、つくっているよりも量が多く出てくる訳です。そうするともう鉄鉱石の還元というのは2億トンぐらになります。

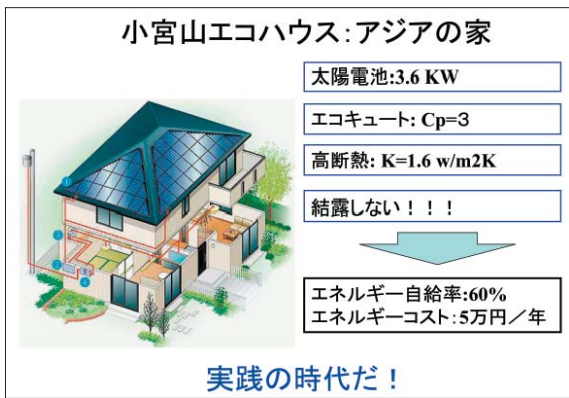


でも、このことは逆に大変なのです。今どうやって鉄をリサイクルしているかというと、自動車が廃車になると、溶かして鉄にしています。自動車には型をつくっておいて、バシッとやると一発でボディができるというものを使います。ところが、廃車で返ってきた自動車を溶かした鉄で同じようにやると、不純物が混じっているのでひびが入ってしまうのです。鉄の生産量は今後増えても、エネルギー消費が減るとい非常にいい循環ができるけれども、そのためにはエネルギーの水平のリサイクル、自動車から自動車に回すという水平のリサイクルに持っていかなければいけません。

これに関しては今日、企業や個人がいろいろおやりになっていることはものすごく重要です。例えば鉄と亜鉛のミックスから亜鉛と鉄を分離して回収するという技術、あるいは使う市民と自動車の設計をする人と鉄をつくる人をコーディネートして、全体として最適なデザインになるような社会のシステムを作る、これこそ日本の得意分野ではないですか。あとは総合力、全体ビジョンを描くリーダー、これをつくらないといけません。こういう社会を作ろうと決めたら、我々は絶対に勝ると。勝つ、負けるというのはいい言い方ではないのですが、世界の尊敬を集めることが新しい世界の社会システムのビジョン、フランス革命だの、アメリカの自動車社会だの、ドイツの産業だのといったようなものに匹敵するきわめて大きな社会のモデルを日本から発信することができるわけです。そういう可能性を我々は持っているのだというのが、「課題先進国」日本ということの意味です。

先程、私はプリウスに乗っていると申し上げましたが、5年前に家を建て替えるチャンスがありましたので、念願の省エネ型でアジア・モンスーン地帯にふさわしい家を建てました。実は、私は花粉症なのですが、あまり根拠なく花粉だけで花粉症になるはずがない、と信じていました、家のカビとダニも一因だと思っております。わが家は冬でも原理的に結露しないので、カビとダニの発生を大幅に抑えることができています。

それからもう一つは省エネで、1年間の電気代が5万円、1年間で、ですよ。今日は女性がたくさんいらっしゃ



るから、「えーっ」と、驚いていただけるのですが、男だけの会場では全然だめ（笑）。うちはオール電化だから、ガスの機能と電気を含めたエネルギー代が1年で5万円ということになります。

最後に今年のノーベル賞に対して、私は二つのことを申し上げたい。IPCCとゴア氏が一緒にノーベル賞を受賞しましたが、IPCCの中で日本人が占める寄与というのはものすごく高いということ。これが一つ。

もう一つはゴア氏についてです。私は『不都合な真実』を見て、素晴らしい映画だと思いました。映画の威力というのはすごいです。「間違いがある」という人もいるけれども、僕はやはり、素晴らしいと思う。けれども、彼の家の電気代を知っていますか。1年、3万ドル。日本円にすると約360万円、しかもアメリカの電気代は日本の半額ですから、日本で言ったら約700万円分の電気を使っているということになります。私の家は5万円ですよ。ゴア氏はとてもいいことを言っているし、僕は彼がノーベル賞をもらったのは本当にいいことだと思っているのですが、実践の時代です。ご自分もちゃんとやれということを申し上げたい。

今日のお話で、私が申し上げたいのは、日本は課題先進国であるということ。自分の課題を自分の力で解決することができれば、世界の新しい21世紀のモデルをつくるチャンスがあるのだということです。しかも環境とエネルギーという、まさに今我々が目指している分野で今まで実績も示してきている。だからやれる力は、きっとあるはずですよ。

それでは、これで本日の講演を終わりたいと思います。ご清聴、どうもありがとうございました。



■特別講演「私たちにできる身近な3R」

安藤 和津 氏 (エッセイスト)



皆さま、こんにちは。ただいまご紹介いただきました安藤和津でございます。前のほうの方が、ふーん、59歳ねという表情で見ているような気がしますが、司会の方、ご丁寧に細かくご紹介、本当にありがとうございました、(笑)。

本当に知らないうちにあっという間にこの年になってしまいました。地球環境も人間の体も似たようなものだと、まだまだ大丈夫と思っているけれども、あっちこっち傷んでいる。それが現状だと思います。

この傷んでいる地球、どうやって救っていくかと考えたときに、それは私たち自身でしかないような気がします。私たちが被害者であり、加害者であるというのが現状ですから、なるべくこの状況から脱却すること。次の世代に今のままの豊かな生活をバトンタッチしてあげることができるように何かを残してあげる。これが今私たちに課せられた一番大きなテーマではないかな、と思っています。

3R、これは本当に重要です。わが家でも日々こういうことを心掛けて生活しようと思っておりますけれども、私たちが高度経済成長時にどうもいろいろなことを甘やかしてしまったツケが今十分回ってきていると思います。東京、ついこの間までIT企業の社長たちがこぞって入居して有名だった六本木ヒルズが東京名物であったのですが、移り変わりは激しいです。東京ミッドタウンができましたら、今度は全員そちらに引っ越してしまいました。私の事務所はなんとその東京ミッドタウンのすぐ近くにあります。中にないのがちょっと残念ですけど、24時間営業のすばらしい高級なスーパーが入っておりますので、夜中まで仕事をしているときは、「ああ、明日の牛乳がない、パンがない」というと、そのスーパーに駆けつけます。

そうしたら、現代を代表するような若者二人を見かけました。女の子は、金髪に染めた髪の毛が白髪状態になっています。顔は日焼けサロンで、真っ黒けっけに焼いて、アイラインは太さ1センチ幅、まばたきすれば風が送られてくるような長いつけまつげ、今年は残暑が激しく暖かい日が東京も続いていましたからまだよかったのですが、へそピアスをしたへそ出しルックのTシャツに、また下5センチのミニスカート。茶髪の彼氏とおぼしき大学生と夜中の12時すぎに買い物をしていました。うちの娘より若いそのお嬢さんが何をかうのか、非常に気になって、別にあとをつけたわけではないのですが、ずっとながめていました。

買い物カゴに、袋詰めのスナック菓子や甘ったるい清涼飲料水のペットボトルをぼんぼん入れ、さらにチンすれば食べられるおかず、お湯を注げば食べられるめん類をたっぷり入れて、男の子のほうレジに並びました。あら、女の子はどうするのかと思ったら、すぐそばで携帯でメールをピピッとやっていました。その女の子がやおら、顔を上げ男の子に向かって、「てめえ、おそいんだよ」って!そうしたら、男の子が女の子に向かって「ごめんね、レジが込んでからちょっと待ってて」。男の子がお金を払って、両手に袋を提げ、女の子のそばに行って「ごめんね、待たせて」って言ったら、女の子が肩にかけていたショルダーバッグを、「てめえ、持てよ」と言って男の子に渡しました。そうしたら男の子が「うん」と言って、彼女のショルダーバッグを肩にかけ、両手に荷物を提げてエスカレータに二人で乗っていきました。私もちょうどタイミングよく後ろをついていきましたら、男の子が違法駐車していた超高級なスポーツカーの助手席を開けてあげて、女の子を乗せ、夜の六本木を走り去っていきました。

これを見たときに、おばさんはいろんなことを考えました。あの女の子、何も今から髪の毛を白髪にしなくなつて、30年たてば嫌でも白髪になるわよね。大体あんなにおなかをすかすかに出していたら、年をとったらすぐに内臓疾患を起こすわよ。あんな厚化粧して、今は若いからいいと思っても、肌荒れもすぐ起こすわよ。男の子の親は何を考えているの、若いんだったら、公共の乗り物か歩くぐらいしなさいよ。車なんか乗ら

すんじゃない!排気ガスまきちらかして、と思いましたが、皆さん、ご存じですか。今、発展途上国が日本の私たちが3人に1人持っている車を同じように持ったら、中国全土でどのくらいの保有台数になってしまうか。すごいですよ。今、世界全部でみんなが乗っている車の数を超過してしまうのです。そういうふうになったら日本はどうなるか。そういうことを考えながら生活していかなければいけないのではないかなとしみじみ思っています。

先進国だから私たちは贅沢をし放題して、あとから来る発展途上国は、あなたたちエネルギー問題を考えたら、環境問題を考えたら車なんか乗るんじゃないよっていうことは言えないですよね。私たち大人は子どもに後ろ姿を見せて生きていかなければいけないのですが、私達大人がきっと今のこういう若者をつくってしまったのかなと思います。

川柳にありました。「各部屋で、同じ番組みる家族」。今の私たちは一つの家で何台テレビを持っているか。そして、「地球よりわが家に欲しい温暖化」。便利になり、物が増えすぎて逆に家の中が殺伐としている。ちょっとこういうのは怖いと思いませんか?そして、お父さんがとてもかわいそう。「愛情もおかずも子どもの残り物」。もっとかわいそうなお父さんは、「飯あるか少しあるわよ猫の分」。ここまでやられちゃったらお気の毒です。

何しろ物があふれて、私たちの生活がどれだけ変わったか。昔女の人は1日24時間中、何時間家庭の中で仕事をしていたかという、電気釜がない、洗濯機がない、掃除機がない、その時代1日のうち13時間半も働いていました。今は家電製品が充実したので昔のお母さんほど動かなくて済むのです。今、パートタイムで働く女性が3時間半、フルタイムで働く方は2時間半というデータが出ていますので、昔の女性とは、なんと1日10時間以上も家事にかける時間が違ってきます。

ちょっと思い出してみてください。女性の仕事は「さしすせそ」と言われました。まず最初の「さ」は、裁縫のさです。今、私たちは針を持って繕い物なんかしますか。しませんね。靴下に穴が開いたら量販店で安く10足束ねて買ってきて、穴があいたら捨てて新しいのをはけばいいわという時代です。今繕い物をしてだんなや子どもに靴下をはかせて表に出したら、「ちょっと、安藤さんのだんなの靴下見た?」「共稼ぎで稼いでいると思ったら、つぎが当たってるのよ」「あのうちきつとね、ローン地獄で本当は大変よ」って陰口をたたかれるのが関の山です。

では今の子のお嫁さん、古い浴衣をほどこいて縫い直して赤ちゃんにおむつを当てますか?そんなお嫁さんは見たことがありません。みんな、紙おむつを使い捨て。ぼんぼん使っては捨てる時代です。

こういうふうと考えたら裁縫なんて女の仕事ともう言えません。では次のさしすせその「しつけ」はどういうことかという、このしつけがなくなったのが日本の大きな問題ではないかなと思います。今、私たちはごみ問題を抱えています。どれだけ私たちがごみを出しているかといいますと、一人1日1.1キロのごみを出しているのです。昔の人は、ごみを多く出すうちはだらしがないといって、ごみもちゃんと始末をして出していたはず。でも、今はものがあふれているから、ちょっと使っ

てはすぐに捨ててしまう。そしてごみの中で何が一番多いかと生ごみです。食べ残し。冷蔵庫はどうなっていますか。奥のほうにいくと干からびた肉だの、もう賞味期限切れの食べ物が出ちゃう出てくるはず。日本というのは食べ物の自給率がすごく低いのです。先進国の中で一番低い国です。エネルギーもそうです。エネルギーも日本ではとれません。外国から頼っているわけです。ブランド品を買いあさっている借金地獄の姿と重なりませ



んか？今の私たちは自分たちの力では何もできないのに、お金の力にあかせてよその国からいろんなものを持ってきて、それを使い切らず捨てている。今にこのツケが回ってきたときに言い訳ができないのではないかという気がします。

私がある町に講演会に行ったときの話ですが。その町はごみをなくそうキャンペーンというのをやっていました。ですから、その町は分別ごみのごみ箱が至るところに設置してあって、ポスターが張ってあって、ごみをなくしましょうと書いてありました。町から飛行場まで少し離れていたの、講演が終わったあと担当の方が車で送ってくださることになりました。とても気の利く方で、講演のあと、喉がかわいたでしょう、安藤さんと言って、お茶の缶をくださいました。お茶を飲みながら、町を通り抜けていくと、町並みが本当にきれいなのです。清潔感があって。「町の方、頑張っているんですね、協力的ですね、すごくいい町じゃないですか」「そうでしょう。隣の町なんかに負けてられませんよ、安藤さん、お茶は飲み終わりましたか」「はい、もういただきました。ありがとうございます」「そうですか。もうすぐ隣町に出ますからそこでごみを捨ててください」と言われました。

あるテレビのロケでものすごくかわいいアイドルの女の子とホテルに泊まりました。一人でご飯を食べるのが嫌だったので、その女の子の部屋をノックして、「ご飯、一緒に行きましょう」と言ったら、彼女はドアを全開にして出てきました。今ホテルではキーをささないのと電気がつかないところがありますが、そこはスイッチでした。彼女の部屋が丸見えになったとき、部屋じゅうの電気がつけばなし、テレビはつけばなし、バスルーム全開で電気をつけばなしでした。そのまま出てきたので私はびっくりして、「あら、電気を消さないの、もったいないじゃないの」と言ったら、「えー、このホテルって電気料金は別に払うんですか？」っていう答えが返ってきました。

「自分のふところが痛むのは嫌」「自分のところが汚れるのは嫌」全部自分中心の、こういう日本にいつからなってしまったのかなと思います。例えば観光名所に行きます。向こうの海は真っ青ですごくきれい、中之島に赤い鳥居があって、「まあ、すてきな景色ね、ここに来て良かったわ。一生に一回やっぱこういう景色を見るべきよね」と思って、さあ帰ろうと思うと、足元にコンビニのお弁当、ペットボトルが、ごろんごろん転がっています。「あら、嫌だ。ここ、ごみ箱ないの？」って思いきや、5メートル先にごみ箱が置いてあります。何で5メートル歩いてごみ箱にものを捨てないの？って、いつも腹が立つのですが、最近気が付きました。ああ、日本の方たちは昔のことわざをものすごく忠実に守っていらっしゃるのだなと。『旅の恥はかき捨て』『だって私は旅人だからどこのだれかだれも知らないじゃない。近所の人はどこにもいないもん。私だけだかわからないでしょう。あとから来る人、知り合いがいないから、こんなごみだらけだって関係ないもん』って思って、ごみをその辺に捨てていってしまうのでしょうか。

でも、ここはちょっとものの考え方をシフトしてみてください。自分の寝床の中でお弁当を食べたからって寝床には捨てません。だって自分の寝床はきれいにしておきたいから。では居間ならいいじゃない、寝るわけ



じゃないから。いや、居間だって私、テレビを見てリラックスするところだから汚いの、嫌。そうよね、じゃあ玄関先は？別に玄関先は出たり入ったりするだけだからいいじゃないの。だってそんなことを言うけど、出たり入ったりするのだって、きれいなところのほうがいいじゃないの。じゃあ、自分の家は嫌なわけ？隣の家の玄関はどうよ。隣のうちのおばさん、嫌なやつだから捨てたってかまわないじゃない。でも私、あそこは駅に行くのに毎日通るのよね。だからあそこも汚いの、嫌だわ。という考えを、ききな言い方ですけれども、地球は一枚の皮だと思えば、皆

さん、ごみぐらいちゃんと捨てるようにならないのかしら。そしたら世界遺産で相合い傘に名前を書くような無謀なことをする人も少なくなるんじゃないかしら。

みんな、自分だけがよければいいという考え方が多すぎるような気がしますけれども、これをちょっと地球規模で考えていただいたらどんなにいいかなと思います。

環境とエネルギーというのは背中合わせです。私はいつも考えるのですけれども、こんなに贅沢にふんだんにエネルギーを使っているのは私たちぐらいじゃないかと思います。

あるグループがごく普通の家庭、一般家庭を調査しました。これは照明器具以外の家電製品ですけれども、なんと110種類、467個あった。私はそんなにあるかしら？と思いましたが、考えてみてください。テレビがあります。電話があります。電気ポットがある。トースターがあって、冷蔵庫、電子レンジ、湯沸かし器、オーブン、洗濯機、インターホン、ひげそり、ステレオ、冬の間は例えばこたつなんて今は炭ではなくて電気ですよ。



そして加湿器、ワープロ、パソコン、携帯電話の充電器、トイレのウォシュレット、エアコン、電気がま、もうすごい数です。

私だって今朝、ここに来るのに5時台に起きました。まだ薄暗いです。電気を真っ先につけました。そして、時計代わりにテレビをつけて、電気ポットからお湯を注いでお茶を飲みました。考えてみたら、こういうものに支えられなかったら、仕事ができません。みんなこういうエネルギーをいっぱい使って、生活しているわけだなと。そうしたら、もうちょっと私たちが次の世代に残すためのしつづけを頑張らなくてはいけないんじゃないかと思います。

私たちがつい忘れがちなのは、間接エネルギー。例えば私が北九州に来て、こっちのおいしいものをクール宅急便で東京に送ります。これが間接エネルギーの中に入ります。あと、私たちが冬なのにトマトを食べたり、キュウリを食べたり、これはハウス栽培で結局間接エネルギーを使っていることになります。直接エネルギーと間接エネルギー2対1ですから、ずっと多く使っている。今、前の男性の方、背広をお召しです。もう少し寒くなればコートをお召しになります。そうしますとこれを石油換算にすると肌着で1リットル、ワイシャツで2リットル、コートで8リットル、背広で10リットル、合計21リットルの石油を使わないとこういう服もつくれないということになります。だから食べ物の残飯なんかもどれだけのエネルギーを使って、どれだけ環境を痛めてつくったものかということを考えたら、昔言いましたお米一粒できるのにどれだけの苦労がかかったか。食べ物一口でももったいないという気持ちでいただくこと。今その感覚がありません。

そういえばラジオでものすごい問題になりました、「いただきます」論争。皆さん、お耳にしたことはありませんか？今学校を悩ませているモンスターペアレンツが「いただきます」を給食時に学校の先生に言う必要はないと言い出したのが発端です。なぜかという、給食費をちゃんと払っているから。そうしたら、ほかのお母さんが、だったら先生に「いただきます」を言わずに給食をつくってくれたおばさんに言えばいいと。そうしたら、他の人が「家でも「いただきます」を言わないからいちいち言わなくてもいい」と。たかが「いただきます」の一言で大論争になったそうです。

でも、皆さまご存じのように「いただきます」というのは自分たちの体に入れる食べ物の命をいただきますと言って手を合わせるわけですから、その論争自体おかしいことになりますが、文部科学省がとった国際比較調査、ここにありますが、これは世界各国の小中学生を対象に質問したものです。ここにいらっしゃる皆さん、全員が聞いたことがあるはずの言葉です。他人に迷惑をかけないように。「うそをついてはいけません」「友だちと仲良くしなさい」こういうような言葉、今の子どもは聞いたことがあるかという、なんと、アメリカで80%以上、韓国、イギリス、ドイツそのほかの国々でも70%以上が親から聞いたことがあると答えているのに、日本のお子さんたちは聞いたことがあるのが、なんと30%を切っています。常識のように私たちが聞いていたこういう言葉、今もう子どもたちに受け継がれていません。

そして一番びっくりしたのが子どもの正義感をたずね質問だったと思いますが、「この1年間でいじめを注意したことがあるか」という質問に、ほかの国の子どもたちはみんな半数以上が「注意したことがある」と答えているのに、日本の子どもは20%を切っています。ということは大人の社会と同じように、見て見ぬふり、自分さえよければいいというのが今の日本なのかなという気がします。

そして、しつけが今、失われてきている世の中ではありますが、「さしすせそ」の炊事、これも今やどうなっているか。ある小学校で先生が子どもたちにアンケートをとりました。どういうアンケートかというと、朝ご飯に食べたものは何だったかと。それをだれがつくったか。それをどういうふうに食べたか。A君の場合、朝ご飯に食べたもの。ツナマヨネーズのおにぎり。それをつくった人、おにぎり会社の人。どういうふうに食べたか。自分の部屋でテレビを見ながら一人で食べた。B子ちゃんの場合、朝ご飯に食べたもの、ポッキーとのほほん茶。それをつくった人、サントリーとグリコ。どういうふうに食べたか。寝っ転がってテレビを見ながら食べた。恐ろしいことに朝食を食べた子は全体の3分の1にも達していません。ご飯を食べていない子のほうが多かったのです。そして、朝ご飯を食べた子どもも何を食べたかという、おにぎり、菓子パン、スナック菓子が一番多かった。親とそろってご飯を食べた子がほとんどいない。

先生はびっくりして、今度お母さんにアンケートを配りました。いろんな答えが来ましたが、その代表的なものの一つ、「私はもちろん子どもの食生活をものすごく大切に思っています。子どもには常に新鮮なものを食べさせたいと思っているので、私は毎朝近くのコンビニまで出来たてのおにぎりを買いに走っています。」これは今の状況です。買ってきたものを食べる。自分のうちでつくらない。なぜ残飯が多いかといえば、買ってきたものだからです。昔のお母さんが一生懸命だしをとって、手づくりのおみそ汁、子どもの嫌いな具だっておみそ汁を残すのも悪いと思って飲み干しました。もちろんほかに食べるものが少なかったせいもあります。

今の子どもはどうかと思ったら、「100円玉で買ってきたお湯を注ぐだけのおみそ汁を残したってかまわないや」ありがたみがありません。そして、今の子どもはお母さんがご飯を用意していたって、「このおかず嫌いだからいいよ」「あとでカップ麺を食べるから」「塾の帰りにハンバーガーを食べてきたからご飯は要らない」っていう生意気な口を利くようになってしまいました。親がなくてもお金があれば子どもが育つ時代、そしてその子どもを取り巻く環境も例えば子どもが1万円札を握ってカラオケボックスに行って、お寿司の出前をとってどんちゃん騒ぎをする。お店は小学生がそんなことをやったって、お金を落としてくれればそれだけで神様ですという時代です。今、地方の条例で、それができなくなるようになってきてはいますが、まだまだ野放し状態です。これは大人のしつけがなくなったせいもあるかもしれません。



そして、環境といえば、自然がどんどん破壊されている。冗談のような話があります。小学校1年生の男の子が飼っていたクワガタが動かなくなりました。お母さんが、あら、クワガタ死んじゃったのかなと思っていたら、子どもがそれを見て、お母さん、僕ちょっとコンビニに行ってくるよといって出掛けました。帰ってきた子どもに、何買ってきたのと聞いたら、「うん、クワガタが動かなくなったら電池を買ってきた」と言った。「お母さん、カマキリの首がとれちゃったからセロテープをとってくれる?」って怒鳴った子どもがいる。先生が生徒を引率して山に遠足に行ったら、キンモクセイのいい香りが漂ってきて、ああ、キンモクセイの季節だねと言おうと思った瞬間に子どもたちが、「トイレのにおいがするぞ」って怒鳴った。

ちょっと嫌な話ですけども、公園で猫をけ飛ばしてサッカーボールみたいにして遊んでいた中学生を、おじいちゃんが注意しました。そうしたら、おじいちゃんに向かって「おじいちゃん、ばかだな。猫ぐらいけったって大した罪にならないんだよ」って子どもが言ったというのを聞くと、もう本当に今の子はどうなっているのだろうと思いますけれども、こういうのも昔のように子どもたちが、鯨尺を剣の代わりにして風呂敷を頭にかぶってちゃんちゃんばらばらのチャンバラごっこを楽しむような、ペーゴマを楽しむような遊びがなくなって、みんなバーチャルのテレビゲームですごしてしまう。テレビゲームの中ではものの命がなくなってもまたすぐにリセットできるのです。でも世の中のここにある命はリセットできない。子どもたちにそういうものを与えて、親が楽しした分、そのツケが毎日、新聞テレビをにぎわす事件になってきているのかなと思います。

これから先は本当に自然と一緒に共生していくということを考えないといけないのですが、今の子どもたち、例えば小学生1年生の夏休みの宿題に夏の野菜果物を書きなさいと出したら、子どもはどう答えますか。ほら、トマト、まっ赤なトマト、スイカ、あれ全部夏のものでしょなんて言おうものなら、1年中あるよと言われてしまいます。旬のものがなくなってしまいました。そして昔、子どもは風の子といって冬場でも雪の中で元気で遊ぶのが子どもの姿だったのですが、今は「かせ」の字が違います。鼻風邪の「風邪」です。ひ弱な子どもたちはちょっと表に出せばすぐに風邪を引いてしまう。だから東京では雪が降った日は子どもは校庭で遊ばせません。なぜかという、骨がもろくなった子どもが雪で滑って骨折するからなのです。本当にかわいそうでしょう?

こういう子どもたちが育っていくとどうなるか。アメリカではホームステイ先で日本人はすごく嫌がられるそうです。なぜかという、ホームステイはその家のルールを守りながら生の文化を吸収しようということが根底にあるのですが、西洋トイレに入って例えば汚しますよね。普通トイレを汚したら自分が恥ずかしいし、あとから入る人が迷惑だと思って掃除をして出てくる。あたりまえだと思います。でも、やらないそうです。お風呂に入ります。当然、向こうはバスタブの中で髪も洗い、体も洗いますから、バスタブの中が汚れてしまいます。当然、普通だったら自分が入ったあときれいにしておいて出てくるはずですが、それもしません。ホームステイ先の両親が、じゃあご飯を食べたあとお皿をこっちに運んできてちょうだいなんて言おうものなら、金を払って住んでやっているのに何でそんなことをやらせるんだよというのが日本人の子どもの反応だそうです。

子どもが最初からそういう価値観を持って生まれてくるかと思ったらそうではないですね。これは大人の価値観です。その子どもを取り囲んでいる環境がそういう子どもをつくってしまったということになるのだと思います。ですから、これから私たちが何を残していくか。これは一人ずつの宿題になるのではないのでしょうか。

ここにいろいろなものがありますが、私たちはダイエットという言葉がすごく好きです。女性は特に。このダイエットを暮らしの中でどうやればいいのかというのがありますが、大体皆さん、エネルギー換算でいうとわかりにくいので、お金換算でやっていくほうが良いと思います。

皆さん、先ほど言ったように冷蔵庫にものを詰めすぎていませんか。ものを詰めすぎると、古いものを食べずに忘れてごみになってしまいます。ごみ処理だってすごいですよ。4人家族で1年間でごみ処理費用は9万



円もかかっているのです。ごみだってただで捨てられる時代ではありません。だとしたら、食べ物のごみも少しずつ減らしていけば、この3Rのリデュースになります。

そして電気代だって1年間に例えば詰め込みすぎないようにすれば1500円ぐらいのお金が戻ってくるはずです。水道だって、皆さんは水はただのように使っていますが、お父さんが朝歯ブラシをするときに水を出しっぱなしで歯を磨いていませんか？歯ブラシをこうやって洗ったあと、1回止めてください。なぜかという、水道の蛇口からは1分間に12リットル以上の水が流れ出るのです。これを1回ずつ止めることによってどれだけ水が節約できるか。大体家族4人でシャワーを浴びるときに1分間短くするだけで1か月で252円の節約になります。だから冷蔵庫の1500円前後と水の250円ぐらいと、足しただけでも随分なお金になります。そして、皆さんもご存じだと思いますが、テレビも必要のないときは切るように心掛けるということはすごく大事なことだと思います。

今こちらのほうに私が何を持ってきているかという、皆さん、先ほどからこの籠の中に何があるか気になっていると思いますが、これは私が家で使っているリサイクルグッズです。ここに全部並べてみます。

これは何だと思いませんか。今を去る57年前、私が着ていた洋服です。上の子どもは今、25歳、下の娘は21歳、二人ともこの洋服を着ました。まだまだ丈夫です。私の孫ができるまでこの洋服はとっておいて着せようと思っています。なぜこんなものがとってあるかという、ものは捨てればごみになります。こうやって大事にとっておけば思い出という付加価値がついた大事な宝物になるのです。だから、大切にしておけるものは大切にしておくということを皆さん、ちょっと考えてみてください。

ここに並べましたこれは、皆さんもご存じの牛乳パックをもの入れにしたものです。これもそうです。そして、ここにあるペン立てのようなもの、これは業務用のラップの大きいものを自分で紙を張ってペン立てにしたものです。これは何かというと、遠くの方は見えますか。単なるフィルムケースですが、たかがフィルムケース、されどフィルムケース。何に使えるかといいますと、薬をもちろん入れて旅行先に持っていく薬ケースにもなりますし、コットンに化粧水を含ませてこの中に入れておくと密閉容器ですから蒸発しないでずっと保つことができます。赤ちゃん、はいはいし始めたときに、針箱が好きです。よくいじります。針が危ないです。赤ちゃんの指でこれは絶対に開けられないので、赤ちゃんがそういう時期はこの中に針をしまってください。わが家で一番これが活用しているのはドレッシングやケチャップやマヨネーズを入れる容器です。小さい容器に入れるのは本当に入れるとき大変なのです。これはそういうお弁当のときにドレッシング、マヨネーズ類を入れるのにとっても便利なので一度お試しください。

あと、これは何かといいますと、かまぼこの板です。サザエさんではかまぼこの板を表札にして猫が寄ってきて困ったというマンガがありますが、私は何に使っているかという、ニンニク専用のまな板にしています。ニンニクはにおいがまな板につくとなかなかとれません。水をじゃーじゃー流して洗うともったいないので、かまぼこの板をミニまな板として使っています。これはなかなか便利です。

遠くの方は見えないかもしれませんが、これは、スカートやズボンのハンガーです。洗濯屋さんが持ってくるハンガーです。これにタオルを掛けて上にこのカバーをかけますと、ちゃんとした手ふき掛けになります。

これは靴下です。時々、靴下がはぐれてしまって片方しかない。そうすると、利用価値がありません。この中に破れたストッキングを入れて、足首のところをリボンで止めてあります。何に使うかという、靴の型が崩れないシューキーパーです。シューキーパーは買うと高いので、片方しかなくなってしまった靴下をそのようにし

て利用しています。これは中に新聞紙を詰めていただければ雨の日に靴がしけってしまったとき、新聞紙は非常に湿気をよく吸いとってくれますので、とても便利です。中の新聞紙は湿気を吸いとったあと、捨てて、あと靴下を洗っていただければ何回でも使えます。

昔新聞の広告は裏をメモ用紙にできました。ところが最近は両面印刷になってメモ用紙にならなくなってしまいました。これは両面印刷の広告をコヨリ状にして、板の上に張り付けたものです。熱いものを置くときのなべ敷きにもできますし、ここに針金を通せばきれいな絵をかくて飾る壁かけにもなります。

これはタイツです。タイツの指の先に穴が開いてしまったら、そこを切り取ってミシンで輪っかにします。片方の足だけ。そうするとヘアバンドになります。伸縮性がとてもいいです。これはもうちょっと小さくつくったアームバンドです。炊事をするときに袖口が汚れないように、袖のところをこれで止めます。

あと、これですね。さて、これは何でできたコサージュでしょうか。後ろの方、見にくいですが。これは破れたストッキングのリユースです。手芸屋さんでワイヤーを買ってきてワイヤーにストッキングをかけます。それを花びら状にまとめて、この緑のテープも手芸屋さんで売っていますからこれをぐるぐると巻いてください。そうしますと、このようなコサージュができます。

ペットボトルを半分にカッターで切ります。そして、切り口で手を切ると危ないので、テープを巻き付けてください。ふたはとります。このように重ねます。ここにスポンジでも入れていただければ、スポンジの水切りとして使うことができます。

これは今スーパーでこういうものをもらってこないで、自分のマイバッグを持っていきたいという運動が盛んになって、私もこの前すっかり忘れて1個5円とられてとても嫌な思いをしたのですが、万が一、まだ家にたくさんスーパーの袋が余っている場合何をするか。スーパーの袋の下隅を切ってください。そうしますと、ちょうどこういうかたちになって、両サイドに穴があきます。これを小さい子どもだと思ってください。これは、小さい子どもが滑り台や砂場で遊ぶときにおしりがすごく汚れるのです。洗濯がすごく大変で、おしりのところばかりがすり切れていきますので、これをこのように着せてください。そうすると砂場遊びのときにおしりが汚れない。こういうふうな、ものを工夫する力、知恵ですよ。



要するに今の私たちはものを使うだけ使って、捨てていくだけで、知恵がなくなってしまいました。こういうものを考えて使うのもものすごくみっちり感じがするかもしれませんが、これはみみっちいのではないのです。せめて私一人でもものを大切にしようという気持ちを一人一人が持っていいただけたら、ごみの量もどんどん少なくなる。CO₂も少なくなる。皆さんにとってとてもいいことがいっぱい出てくるはずです。

日本語ってすばらしいと思うのは、皆さん、自分の旦那さんやお子さん、奥さんが優秀だったらどんなにいいかなと毎日思っているじゃないですか、この優秀というのはどういう字か。この中に美人だのスタイルがいいだの、一流企業に勤めているだの、いい大学を出ただの、そんな言葉はどこにも書いていないです。優しさに秀でる、それが優秀という意味だったら、地球に優しい、その優しさに秀でる人間になる。これが地球を救う第一歩だと思います。

買ってきたものを食べて余ったら捨てたほうがよっぽど楽だわと思うかもしれないけれども、辛いこと、これの一つ乗り越えると何かという幸せという字になります。一つでも皆さんが辛いことを乗り越えて、小さい幸せを積み重ねていけば、これから先の日本はもっとよくなるのではないかと思います。

今日は本当に私のつたない話を聞いていただいて、本当にありがとうございました。

■北九州ドリームサミット(中学生議会)による宣言

社団法人 北九州青年会議所が主催する、北九州ドリームサミットとは、大人への最初のステップに差し掛かる中学生の代表が、「環境」「国際」「地域」の3つをキーワードに10年先のこのまちの夢未来物語を考えるものです。第3回となる、今年は約70名の中学校の代表生徒が議論に参加しました。



～KDS-2007 環境宣言～

私達、市内中学校の代表である「北九州ドリームサミット議員」は、10年先、20年先の未来を見据えています。果たして私達の生きる未来は、どうなっているのでしょうか?美しい緑は残されているのでしょうか?空気は澄んでいるのでしょうか?私達は、自然豊かな、美しい未来であることを望んでいます。そして私達は知っています。より良い未来が、現在(いま)の積み重ねであることを。

だから私達は考えるのです
現在の問題点について
今、私達にできることを
その先の将来を
なぜなら、より良いで未来であって欲しいから
そして私達は、行動しています
自ら計画を立て、仲間達と共に
その為の行動指針を、私達は持っています
(平成18年策定された「北九州中学生条例」です)

- わたしたちは、豊かな自然を守り、自然との共存を図るため、身近な環境問題を知るとともに、家庭や地域及び学校において、一人ひとりができることから環境にやさしい行動を実践するよう努めます。
(一人ひとりが実践する)
- わたしたちは、環境を守り、未来の地球に自然を残すため、限られた資源の節約に努めます。
- わたしたちは、3R運動「Reduce(発生抑制)」「Reuse(再使用)」「Recycle(再資源化)」を心掛け、ゴミの分別に努めます。
- わたしたちは、校内に環境委員会を設置し、環境に関する情報発信を行うなど、環境に対する意識向上に努めます。
- わたしたちは、北九州市を住みやすいまちにするため、環境保護団体と共に清掃活動などに取り組みます。
- わたしたちは、受け継いだ美しい環境について考え、それを未来に伝えていくよう努めます。

大会宣言

私達は、活動を通じて学んだのです。ひとりひとりが、環境について考え、学び、そして自主的に行動することで、限りある資源を守って行けると。そしてこのことを、ひとりでも多くの人に伝え、みんなが当たり前に環境について考え、行動することができるようになれば、本当にすばらしい世の中になるのではないかと。
その為に、私達は活動し続けることを宣言します。

イベント開催結果

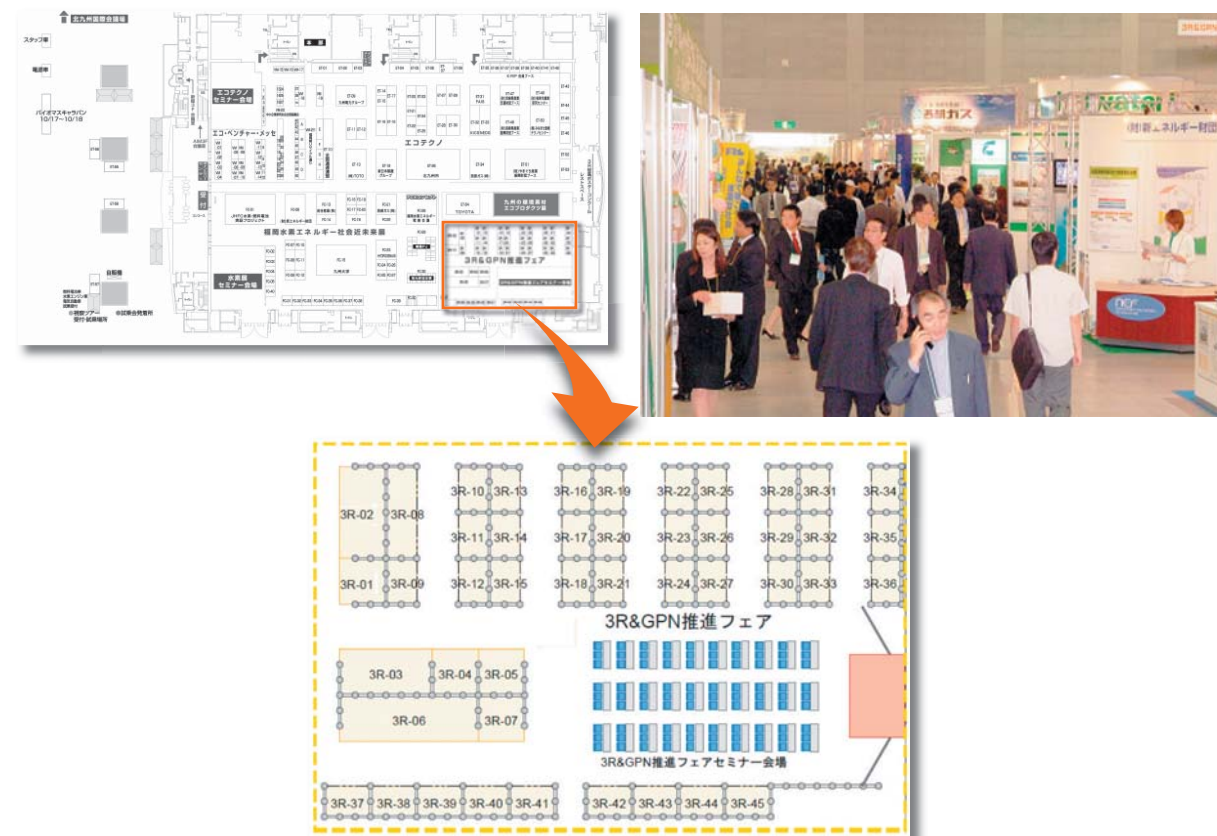
3. イベント開催結果

■ 3R&グリーン購入ネットワークフェア

- 期 間 …… 10月17日～19日
- 会 場 …… 西日本総合展示場
- 入場者数 … 約3万人

ブースの出展

エコ・テクノ2007の会場内で45ブースを展開しました。NPO、事業者、行政がそれぞれの立場での3Rへの取り組みを発表しました。



3R&GPN推進フェア出展社	
3R-01 3R活動推進フォーラム	3R-23 株式会社ミックスコーポレーション
3R-02 3R推進団体連絡会	3R-24 株式会社製作所
3R-03 (社)福岡県産業廃棄物協会	3R-25 ゼネラルサプライ(株) 福岡営業所
3R-04 スチール缶リサイクル協会	3R-26 ゼブ(株) 福岡支店
3R-05 有限責任中間法人 JBRC	3R-27 リコー九州(株)
3R-06 (社)食品容器環境美化協会	3R-28 コクヨ九州販売(株)
3R-07 有限責任中間法人 パソコン3R推進センター	3R-29 プラス株式会社テクニクスカンパニー九州支社
3R-08 九州地方環境事務所	3R-30 株式会社エー・リライツ
3R-09 福岡県環境部	3R-31 NPO法人 エコ診断ネットワークジャパン
3R-10 九州グリーン購入ネットワーク・福岡	3R-32 株式会社商店 大口酒造協同組合
3R-11 福岡工業大学 社会環境学部	3R-33 NPO法人 水俣教育旅行プランニング
3R-12 北九州市立大学 国際環境工学部	3R-34 NPO法人 コミュニティンクタンクあうず
3R-13 環境ネットワークまもと	3R-35 NPO法人 男女・子育て環境改善研究所
3R-14 九州電力(株)	3R-36 NPO法人 北九州国際自然大学校
3R-15 NPO法人 環境みらい塾	3R-37 北九州市環境・スポーツ運営協議会
3R-16 エコユープン生活協同組合	3R-38 NPO法人 空き缶基金
3R-17 南フリーダム	3R-39 NPO法人 北九州エコ・サポーターズ
3R-18 九州食品リサイクル協議会	3R-40 NPO法人 まちのカルシウム工房
3R-19 株式会社ライオン事務機	3R-41 NPO法人 こすみんず
3R-20 株式会社トリボロジー	3R-42 NPO法人 新環境システム研究所
3R-21 株式会社ボルト 福岡店	3R-43 NPO法人 循環生活研究所
3R-22 NPO法人 よか隊	3R-44 NPO法人 南畑ダム貯水する会
	3R-45 NPO法人 環境コア

■ セミナーの開催

九州グリーン購入ネットワーク・福岡設立セミナー in 北九州

開催日時: 平成 19 年 10 月 17 日(水) 14:00～16:15

開催会場: 西日本総合展示場 新館 3R & GPN 推進フェアセミナー会場

主 催: 九州グリーン購入ネットワーク・福岡(九州 GPN・福岡)、グリーン購入ネットワーク(GPN)・環境省、北九州市、3R 活動推進フォーラム

開催内容: 『3R 推進活動はグリーン購入から』

講師 グリーン購入ネットワーク(GPN) 代表 中原 秀樹氏

『自治体向けのグリーン購入ガイドライン説明会』

講師 環境省 総合環境政策局 環境経済課 課長補佐 原田 和幸氏

『質問タイム』

コーディネーター 九州 GPN・福岡 代表 二渡了氏

3R & GPN 推進フェア 開会記念セミナー

開催日時: 平成 19 年 10 月 18 日(木) 11:00～12:00

開催会場: 西日本総合展示場 新館 3R & GPN 推進フェアセミナー会場

主 催: 北九州市、3R 活動推進全国大会実行委員会

開催内容: 「3R & GPN 推進フェア」では、開催記念講演として、これからの 3R が楽しく明るい社会を創っていくためのキーワードとなるように、「フードマイレージ」キャンペーンや、経済産業省の「リスペクト・スリーアール」プロジェクトを手がけているエコ・クリエイター、広告メディアクリエイティブ[サステナ]の代表マエキタミヤコさんに講演をお願いしました。



九州地域環境 NPO 事業評価プレゼンテーション (KENEP)

開催日時: 平成 19 年 10 月 18 日(木) 13:00～19:00

開催会場: 西日本総合展示場 新館 3R & GPN 推進フェアセミナー会場

主 催: 九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)

プレゼンテーションプログラム:

「CO₂ 排出権取引に関する取り組み」 新聞環境システム研究所(福岡県福岡市)

「奄美エコマネー事業について」 グレース・エ・サモサ(鹿児島県奄美市)

「若木エコ・ヴィレッジの試み」 循環型たてもの研究塾(佐賀県武雄市)

「綾の照葉樹林プロジェクトについて」 宮崎文化本舗(宮崎県宮崎市)

「バイオマス事業の可能性」 九州バイオマスフォーラム(熊本県阿蘇市)

「グリーンツーリズム実践大学について」 安心院グリーンツーリズム(大分県宇佐市)

「水俣病を軸としたエコツアー事業について」 水俣教育旅行プランニング(熊本県水俣市)

「環境カウンセリング協会長崎としての取り組み」 環境カウンセリング協会長崎(長崎県長崎市)

「エコ・サポーターズの最新の取り組み」 北九州エコ・サポーターズ(福岡県北九州市)

菜の花を楽しもう!誰でもできるBDFセミナー

開催日時:平成19年10月19日(金)10:30~12:30

開催会場:西日本総合展示場 新館3R&GPN推進フェアセミナー会場

主催:北九州市、3R活動推進全国大会実行委員



講演:菜の花が地域を、地球を救うー菜の花エコプロジェクトの取り組みー

東近江市あいとうエコプラザ菜の花館 館長 野村 政次氏

都市部での『市民体験スクール 菜の花を咲かせよう!プロジェクト』の軌跡

株式会社 フラウ 専務取締役 濱砂 清氏

プレゼンテーション:北九州市 菜の花プロジェクトモデル事業

みんなが主役!共に行動するための3Rセミナー

開催日時:平成19年10月19日(金)13:30~16:10

開催会場:西日本総合展示場 新館3R&GPN推進フェアセミナー会場

主催:3R推進団体連絡会

基調講演:3R社会の構築に向けた主体間連携の可能性

北九州市立大学 国際環境工学部 准教授 松本 亨氏

「北九州市における3Rの取り組み」

北九州市 環境政策部計画課 環境政策係長 梶原 浩之氏

「エフコープ生活協同組合の取り組み～組合員と地域とともに～」

北九州グリーンコンシューマー推進委員会委員・エフコープ生活協同組合常任理事 江口 端枝氏

事業者の取り組み紹介:3R推進団体連絡会

意見交換会:「市民・自治体・事業者の協働」

消費者環境意識調査アンケート分析

平成19年度福岡県NPO活動提案事業として、循環型社会の早期実現に向けて、県民、企業、民間団体が連携し環境コミュニケーションの場を広げ、協働にて3R推進をはかり様々な世代、様々な現場での3R普及啓発活動を行うとともに、九州GPN・福岡の目的である消費者のグリーンコンシューマーの拡大を目指す目的で、「消費者環境意識調査アンケート」実施、九州GPN・福岡の今後の活動について、貴重なデータを得ることができました。

本アンケートは、エコテクノ・エコスタイルタウン・ふくおか環境フェスタの3つの環境イベントにおける来場者2315人を対象に実施したものです。回答者の男女比は、男869人:37.5%、女1417人:61.2%(無回答1.3%)でした。



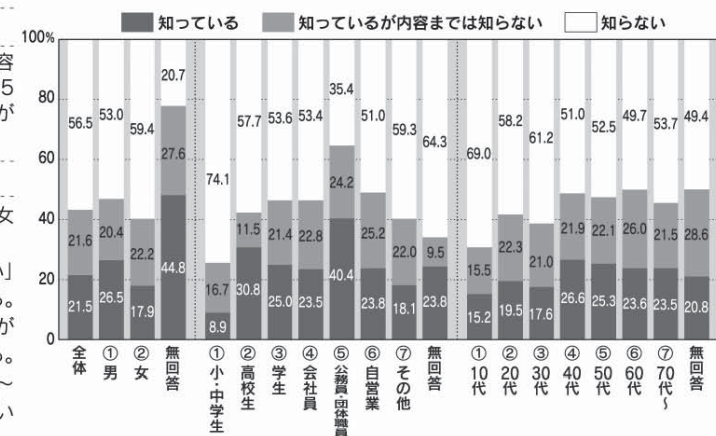
グリーンコンシューマー認知度

・3イベント全体

「知っている」が21.5%、「知っているが内容までは知らない」が21.6%、「知らない」が56.5%と、グリーンコンシューマーを知らない方が過半数を超えている。

・各属性

男女比で見ると、「知らない」が男性53%、女性59.4%と、女性が6.4%高くなっている。
職業で見ると、小中学生(270人)の「知らない」が74.1%と、全体に比べ高い数値を示している。また、公務員・団体職員(198人)の「知らない」が35.4%と、全体に比べて低い数値を示している。
年代で見ると、40代以降の中高年齢層が10~30代と比較して、「知らない」の割合がやや低い数値を示している。



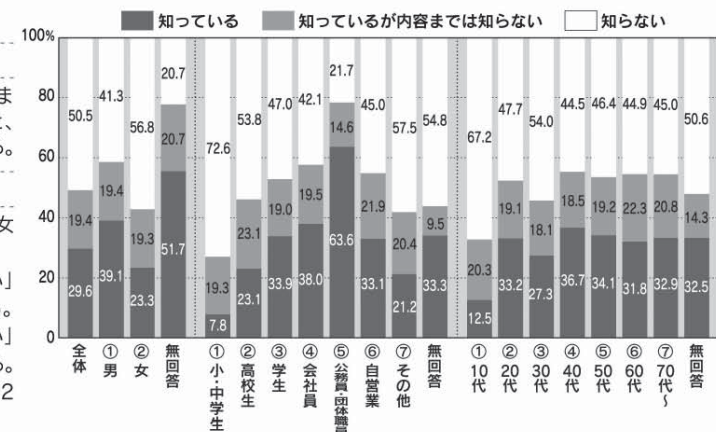
グリーン購入認知度

・3イベント全体

「知っている」が29.6%、「知っているが内容までは知らない」が19.4%、「知らない」が50.5%と、グリーン購入を知らない方が過半数を超えている。

・各属性

男女比で見ると、「知らない」が男性41.3%、女性56.8%と、女性が15.5%高くなっている。
職業で見ると、小中学生(270人)の「知らない」が72.6%と、全体に比べて高い数値を示している。また、公務員・団体職員(198人)の「知らない」が21.7%と、全体に比べて低い数値を示している。
年代で見ると、10代の「知らない」が67.2%と、全体に比べ高い数値を示している。



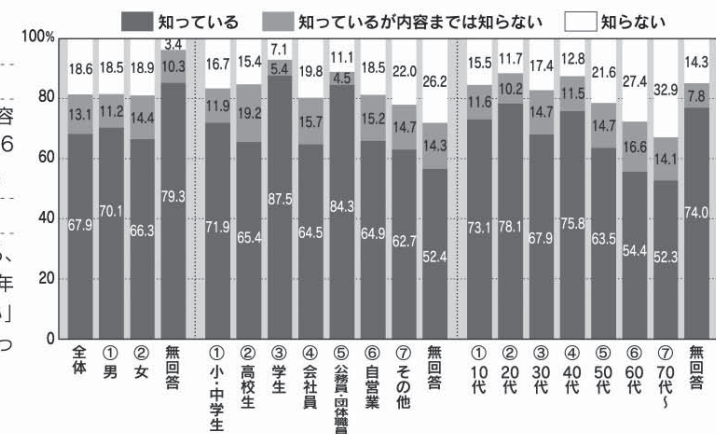
3R認知度

・3イベント全体

「知っている」が67.9%、「知っているが内容までは知らない」が13.1%、「知らない」が18.6%と、3Rを知らない方は2割弱となっている。

・各属性

男女比で見ると、「知らない」が男性18.5%、女性18.9%とほぼ同等の割合となっている。年齢で見ると、50代以降の方が「知らない」21.6%、27.4%、32.9%と徐々に数値が高くなっていくことが見受けられる。



どのようにしてお知りになりましたか？

この項目は複数回答可能な項目である。パーセンテージは回答者全体(2315人)からの割合であり、全回答数(3555)からの割合ではない。

全体を見てみると、上位5組として、「テレビ・ラジオ」34.99%、「環境イベント」25.62%、「新聞・雑誌」24.97%、「チラシ・パンフレット」19.48%、「職場・学校内活動」17.93%の順となっている。2位の環境イベントはさることながら、上位にマスメディアが占めていることに注目できる。但し、マスメディアとしての側面のあるインターネットでの割合が6.74%と他のマスメディアと比べると低い数値を示している。

どのようにしてお知りになりましたか？	回答数(人)	割合(%)
1. テレビ・ラジオ	810	34.99
2. 新聞・雑誌	578	24.97
3. チラシ・パンフレット	451	19.48
4. インターネット	156	6.74
5. 環境イベント	593	25.62
6. 職場・学校内活動	415	17.93
7. 地域活動	171	7.39
8. 公共交通機関・公共施設	112	4.84
9. 人から聞いた	163	7.04
10. その他	106	4.58
(複数回答)	回答者計:2315人	

地球温暖化防止や地球環境に配慮した取り組みをされていますか？

この項目も前記の「どこで知ったか」同様、回答者全体からの割合である。

圧倒的に割合が高いのが「ごみの分別に協力する」の78.23%である。次いで、「マイバック持参」61.81%、「紙は古紙回収に出す」61.73%、「お買い物は徒歩・自転車」50.80%、「詰替え商品の購入」49.42%となっている。

取り組み項目の回答数は、男性が4694件、女性が9413件

地球温暖化防止や地球環境に配慮した取り組みをされていますか？	回答数(人)	割合(%)
1. 詰替え商品の購入	1144	49.42
2. マイバック持参	1431	61.81
3. 過剰包装を断る	1045	45.14
4. 修理して長く使う	920	39.74
5. フリーマーケットでの購入	501	21.64
6. Rピンなどの製品	351	15.16
7. ごみの分別に協力	1811	78.23
8. 紙は古紙回収に出す	1429	61.73
9. 待機電力に気を付ける	821	35.46
10. 冷房は28℃設定	1045	45.14
11. ノーマイカー通勤	481	20.78
12. アイドリング・ストップ	373	16.11
13. 公共交通機関の利用	865	37.37
14. 地球にやさしい商品を買う	808	34.90
15. お買物は徒歩・自転車	1176	50.80
16. その他	98	4.23
(複数回答)	回答者計:2315人	

■3Rフェア

- 日 程 …… 10月20日(土)～21日(日)
- 会 場 …… 北九州市役所庁舎周辺(エコスタイルタウン会場)
- 入場者数 … 約13万人



ブースの出展

環境省・3R活動推進フォーラム・北九州市による3Rに関する展示を6ブースで行いました。今回表彰を受けた、「わたしがつくったマイバッグ」受賞作品の展示には多くの方が関心を示していました。また、早稲田大学永田研究室による、ごみの分別セミナーや、家電用品の環境負荷についての実験にも、多くの方が参加されました。

セミナーの開催

- 日 程：10月20日(土) 13：30～15：30
- 会 場：西部ガスリビングスタジオ
- hinata(ヒナタ) 北九州

受講者数：38人

北九州市環境ミュージアムと連携して、ふろしきの包み方セミナーを実施しました。講師は今回の全国大会で3Rマイスターを委嘱された本市在住の諸藤見代子氏(環のまなび工房代表)です。この講座や式典で配布したパンフレットは「循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰」を受賞された「ふろしき研究会」の監修をいただいて作成しました。ふろしきの包み方をわかりやすいイラストで表しており、とても好評でした。



4. 関連イベント

■【環境省中央環境審議会・循環型社会計画部会】

■日 程 ……10月18日(木) 9:30～12:00

■会 場 ……リーガロイヤルホテル小倉 エンパイアルーム

■主 催 ……環境省

「地域における循環型社会づくり」をテーマに、北九州市の環境行政への取り組みについて北九州市企画政策室長 垣迫裕俊氏が発表しました。なお、中央環境審議会が地方で開催されたのは初めてでした。

■【ごみゼロふくおか推進大会】

■日 程 ……10月18日(木) 9:30～12:00

■会 場 ……リーガロイヤルホテル小倉 ロイヤルホール

■主 催 ……福岡県・ごみと資源を考える福岡県民会議

■参加人数 ……400人

豊かな環境の恩恵を次世代に引き継ぐことのできる循環型社会の形成に向けて、3Rの取組を促進するため、一堂に会し新たな視点に立ったごみの3Rを考える機会として実施しました。

プログラム(敬称略)

〈表彰〉福岡県循環型社会形成推進功労者知事表彰

〈事例発表〉福岡県内の特色ある活動事例の発表

〈トークイベント〉収納の達人・平岡 さなえ
「家庭内のごみゼロ運動」

〈環境講談〉講談師・神田 紫

「もったいない善兵衛～ものを慈しみ、人に感謝の心を～」



■【東京大学サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)・北九州市共催シンポジウム】 ～北九州から東アジアの循環型社会を考える～

■日 程 ……10月20日(土) 13:00～16:30

■会 場 ……男女共同参画センター ムーブ 大ホール

■主 催 ……東京大学サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)・北九州市

■後 援 ……環境省

■参加人数 ……250人

循環型社会の形成は、日本の環境行政に留まる命題ではなく、世界の工場として機能している中国などアジア地域全体で捉え直すべき重要な課題となっています。公害問題を克服し、循環型産業を育ててきた北九州市において、都市から東アジアに至る「循環型社会」の仕組みをどのように作り上げるべきかを議論しました。

プログラム

〈基調講演〉(敬称略) ・安井 至(国際連合大学 副学長)
・全 炳成(韓国環境省資源循環局 局長)
・スタンリー・C・T・イップ(アラップチャイナ企画開発部 部長)

〈パネルディスカッション〉 ・細田 衛士(慶應義塾大学 教授)
・浅野 直人(福岡大学 教授)
・三隅 佳子(財団法人アジア女性交流・研究 フォーラム 会長)
・諸 大建(中国 上海同济大学 教授)
・呉 佶鐘(韓国国立環境研究院資源リサイクル室 室長)



■【北九州市 3R 活動推進表彰】

■日 程 ……10月20日(土) 11:30～12:00

■会 場 ……エコスタイルタウン会場 メインステージ

本市で3R推進全国大会が開催されるのを機に、市内で3R活動に取り組む個人や団体を表彰する制度を創設しました。第1回となる今回は4部門で42の団体が表彰されました。

・3R活動推進表彰 ・古紙リサイクル賞

・資源化・減量化優良事業所賞 ・レジ袋削減賞



5. 広報及び参加人数

■ 広報物（ポスター・チラシ・ホームページ）

スリーアール

第2回 3R推進全国大会

詳しくは <http://3rtaikai.sakura.ne.jp> ヘアアクセス

日程 平成19年10月17日(水)〜21日(日) 入場無料

こみを出さない
リデュースの「ユーくん」

物を大切に
リユースの「ユーちゃん」

生まれ変わるよ
リサイクルの「サイくん」

Reduce リデュース Reuse リユース Recycle リサイクル

第2回3R推進全国大会式典

日程 平成19年10月18日(木)
■13:00開場 ■13:30〜16:30

会場 リーガロイヤルホテル小倉 ロイヤルホール

主催 環境省、福岡県、北九州市、3R活動推進フォーラム
「環境型社会形成推進功労者表彰」「3R促進ポスターコンクール表彰」など

参加申込方法
参加を希望の方は、「氏名」「住所」「郵便番号」「電話番号」「参加人数」を
電話、FAXまたはEメールでお申し込みください。

●電話: 551-0506 (株)コムディア内
●FAX: 551-0579
●E-mail: info@3rtaikai.sakura.ne.jp

特別講演 記念講演

小宮山 宏
環境省副大臣

安藤 和洋
北九州市長

●申込期限
10月5日(金)必着
※申込期限の翌日よりお申し込みの受付は開始いたします。
※定員に達した場合は受付を早急に締めさせていただきます。
●会場 男女共同参画センター ムーブ 大ホール

ごみゼロふくおか推進大会

日程 平成19年10月18日(木) AM10:00〜PM12:00

会場 リーガロイヤルホテル小倉 ロイヤルホール

3R推進フェア

エコテック/2007 日程 平成19年10月17日(水)・10月19日(金)
会場 西日本総合展示場 新館

エコスタイルタウン 2007 日程 平成19年10月20日(土)・10月21日(日)
会場 北九州市庁舎 周辺

東京大学IR3S・北九州市共催公開シンポジウム

日程 平成19年10月21日(日) PM1:00〜PM5:00

会場 男女共同参画センター ムーブ 大ホール

お問い合わせ 第2回3R推進全国大会実行委員会事務局
環境環境政策課 7803-8501 北九州市小倉北区城内1-1 TEL.093-582-2187

第2回3R推進全国大会ポスター



表 第2回3R推進全国大会チラシ



裏



第2回3R推進全国大会ホームページ



環境情報誌「かえるプレス」

■ 3R 大会実行委員会

5月に、北九州市での3R推進全国大会のあり方について検討する実行委員会を発足しました。委員会は主催者である環境省・福岡県・北九州市・3R活動推進フォーラムと、市民・事業者・NPOで構成されており、大会の成功へ向けた活発な議論が取り交わされました。その中で「今後の市民の3R活動を推進するような内容にするべきである」「3R活動を生活に取り入れてもらえるようなイベントを」等のご意見をいただき、この大会を一時的なものにせず、意義あるものという方向性が示されました。

区 分	所 属	役 職	氏 名
主催者	環境省大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部	企画課長	紀村 英俊
	環境省 九州地方環境事務所	所 長	鍛冶 哲朗
	福岡県環境部	環境部長	角 敬之
	北九州市環境局	環境局長	久鍋 和徳
	3R活動推進フォーラム	専任理事	八木 美雄
消費者 NPO 市民団体	ごみと資源を考える福岡県民会議	会 長	阿部 真也
	九州グリーン購入ネットワーク	代 表	二渡 了
	北九州市衛生総連合会	会 長	作本 亘
	北九州市消費生活問題婦人協議会	会 長	森山 昌子
	NPO 法人 里山を考える会	代 表	関 宣昭
	北九州子どもエコクラブ	サポーター代表	小川 育子
	地球温暖化を考える北九州市民の会	代 表	秋枝 博子
	環境ミュージアム	環境学習係	諸藤 見代子
	北九州市グリーンリソリユーム推進委員会	会 長	花崎 正子
	北九州商工会議所	会員サービス部 部長	北野 秀幸
事業者	新日本製鐵(株)八幡製鐵 所総務部開発企画グループ 部長		網岡 健司
	福岡県産業廃棄物協会	北九州支部長	岡崎 尚文
	北九州エコタウン立地企業	西日本オートリサイクル(株) 代表取締役社長	関 和己
	北九州市青年会議所	理事長	中柴 崇

■ 第2回3R推進全国大会実行委員会設置要綱

(名称)

第1条 本会は、第2回3R推進全国大会実行委員会(以下「実行委員会」という。)と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、資源循環型社会の形成に向けて、より広範な3R活動の推進を図ることを目的に開催する第2回3R推進全国大会を実施するために組織する。

(組織)

第3条 実行委員会の委員は、別表に掲げる者をもって構成する。

(役員)

第4条 実行委員会には、次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名
- (3) 監事 1名
- 2 委員長は、北九州市環境局長をもって充てる。
- 3 副委員長は、福岡県環境部長をもって充てる。
- 4 監事は、北九州市環境局総務課長をもって充てる。

(役員の責務)

- 第5条 委員長は、実行委員会を代表し、会務を総括する。
- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。
 - 3 監事は、実行委員会の会計事務を監査する。

(事業)

- 第6条 実行委員会は、第2条の目的を達成するため、次の業務を行う。
- (1) 第2回3R推進全国大会の開催に関すること
 - (2) その他目的の達成に必要な事項

(会議)

- 第7条 実行委員会の会議は、委員長が招集する。
- 2 会議の議長は、委員長をもって充てる。

(議決事項)

- 第8条 実行委員会は、次の各号に掲げる事項を決議する。
- (1) 事業計画及び予算
 - (2) 事業報告及び決算
 - (3) その他必要と認める事項

(事務局)

- 第9条 事業の円滑な運営を図るため、実行委員会に事務局を置く。
- 2 事務局に事務局長及び事務局員を置き、事務局長は、北九州市環境局環境政策部計画課長をもって充て、事務局員は、別表の主催者から各1名を選任する。

(庶務)

第10条 実行委員会及び事務局の庶務は、事務局長が処理する。

(解散)

第11条 実行委員会は、事業を完了し、決算の承認を得られたときに解散する。

(その他)

第12条 この要綱に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成19年5月28日から施行する。

議案第1号